

令和5年度

# 事業報告書

北九州市社会福祉協議会  
地域福祉部 研修課  
(北九州市社会福祉ボランティア大学校)

## 目次

1 事業の総括 .....	1
2 研修実施状況一覧 .....	2
3 研修実施内容	
(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成	
○ まちづくりセミナー .....	7～8
○ 新たな社会問題に対応する講座.....	9～12
○ ふくしのまちづくり講座 .....	13～40
○ 市民講演会 .....	41～43
(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成	
① 入門者	
○ 福祉有償運送運転協力者研修 .....	44～55
○ 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座.....	56～57
○ 災害ボランティア養成講座 .....	58～61
② リーダー	
○ ボランティアグループ運営研修 .....	62～63
(3) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の育成	
① 現任者	
○ 現任福祉協力員研修 .....	64～77
○ 地域福祉活動専門研修 .....	78～79
② 役員	
○ 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」 .....	80～81
○ 校(地)区社協新任役員研修 .....	82～83
○ まちづくりゼミナール .....	84～85
(4) 企業・社会福祉法人におけるボランティア・市民活動者の育成	
○ 企業の社会貢献活動セミナー（オンライン開催）.....	86～87
○ 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー（オンライン開催）.....	88～89
(5) ボランティア・市民活動支援者の育成	
○ ボランティアコーディネーター研修 .....	90～91

## 1 事業の総括

社会福祉ボランティア大学校では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、孤独・孤立防止や助け合い活動をテーマに、福祉の視点から人材の養成・育成を目指した研修を実施し、延べ1,956人が研修を受講しました。

継続して重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、地域の人材発掘や地域の課題発見、解決を目指し、各校(地)区社協、市・区社協協働で講座を企画し、地域住民による小地域福祉活動の充実をはかりました。あわせて、講座をきっかけとして、新たな活動の担い手を養成しました。

新規の取り組みとしては、「ボランティアグループ運営研修」において、ボランティア、NPO団体等の活動者や市民を対象に、行政やNPO団体、北九州市市民活動サポートセンター等とも連携して研修を実施し、参加者間の情報共有と横のつながりの機会提供等、活動推進のプラットフォームとしての役割に努めました。

受講後の成果として、「子育て支援ボランティア養成講座」では8名の受講者が子ども食堂などでボランティア活動を始めることとなりました。「知的・発達障害のある人へのボランティア入門講座」では5名の受講者が「青春大学校」等でのボランティア活動を始めることとなりました。

## 2 研修実施状況一覧

### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- まちづくりセミナー 詳細 No.1
- 新たな社会問題に対応する講座 詳細 No.2
- ふくしのまちづくり講座 詳細 No.3
- 市民講演会 詳細 No.4

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	定員/回	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	2	2	30	50	12
新たな社会問題に対応する講座 「子育て支援ボランティア養成講座」 「子ども食堂とフードバンク活動を通じてやさしい未来を考える」	市民（子どもに向けたボランティア活動に意欲的な方）	2	1	2	30	57	6・11
ふくしのまちづくり講座	校(地)区住民	14	2～3	28	30	828	4～3
市民講演会 「孤独・孤立防止への取り組み～子どもの心の声を聴く人になろう～」	市民（ボランティア・市民活動に関心のある方、活動中の方など）	1	1	1	90	59	11
計		18	—	33	—	994	—

※子育て支援ボランティア養成講座では、1回目受講後にボランティア活動につなぐ成果（子ども食堂8名）があり、2回目の子ども食堂とフードバンク活動の講座後はボランティア活動に意欲的な方が19人となった。

※ふくしのまちづくり講座については令和4年度から今年度に延期となった1校(地)区1回を含む。

### (2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

- ① 入門者
  - 福祉有償運送運転協力者研修 詳細 No.5
  - 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座 詳細 No.6
  - 災害ボランティア養成講座 詳細 No.7
- ② リーダー
  - ボランティアグループ運営研修 詳細 No.8

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	定員/回	延参加人数	開催月
入門者	福祉有償運送 運転協力者研修	福祉有償運送実 施団体で運転を 希望する者	3	2	6	30	92 (うちセダ ン型15 人)	6・10・2
	障害への理解を深め、はじめよう ボランティア入門講座 「知的・発達障害のある人へのボラ ンティア入門講座」	市民	1	1	1	30	41	9
	災害ボランティア養成講座	市民	2	1	2	30	66	9
リーダー	ボランティアグループ運営 研修	ボランティ ア・NPO等で活 躍されている 方	1	1	1	30	17	11
計			7	—	10	—	216	—

※知的・発達障害のある人へのボランティア入門講座では、疑似体験と寸劇とでわかりやすく構成し、参加者が発達障害のある方の生活上の困難さを理解して障害のある方の気持ちを理解し、接し方を学ぶ講座となった。受講後ボランティア活動につなぐ成果(障害福祉ボランティア協会5名)となった。

※福祉有償運送運転協力者研修の1回目では、聴覚に障害のある方の受講ニーズに対応し、ipadやスマホでUDトーク(音声認識による文字起こしアプリ)を活用したり、テキスト指差しやホワイトボードの使用など合理的配慮を行いながら研修を開催した。

### (3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成

#### ① 現任者

- 現任福祉協力員研修 詳細 No.9
- 地域福祉活動専門研修 詳細 No.10

#### ② 役員

- 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」 詳細 No.11
- 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 詳細 No.12
- まちづくりゼミナール 詳細 No.13

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	定員/回	延参加人数	開催月
現任者	現任福祉協力員研修	現任福祉協力員等	7	1	7	50	259	9～12
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社協の実務者	1	1	1	80	81	12
役員	地域福祉活動指導者研修 「トップセミナー」	校(地)区社協役員	1	1	1	200	201	3
	校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修	校(地)区社協新任役員	1	1	1	80	92	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社協・まちづくり協議会 役員、民生委員等	1	3	3	30	77	9～11
計			11	—	13	—	710	—

※「トップセミナー」は、対面型、動画配信の併用実施。

※まちづくりゼミナールでは、校(地)区社協の見守りで使用する「基本台帳」や「会員名簿」などの個人情報取り扱いの難しさや問題点を話し合い、改めてルールに則った取り扱いの基本を学び、どう活かすかを考えるきっかけづくりを行った。

#### (4) 企業・社会福祉法人におけるボランティア・市民活動者の育成

- 企業の社会貢献活動セミナー(オンライン開催) 詳細 No.14
- 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー(オンライン開催) 詳細 No.15

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	定員/回	延参加人数	開催月
企業の社会貢献活動セミナー(オンライン開催)	企業の社会貢献活動担当者等	1	1	1	30	14	2
社会福祉法人の社会貢献活動セミナー(オンライン開催)	社会福祉法人の社会貢献活動担当者等	1	1	1	30	6	2
計		2	—	2	—	20	—

#### (5) ボランティア・市民活動支援者の育成

- ボランティアコーディネート研修 詳細 No.16

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	定員/回	延参加人数	開催月
ボランティアコーディネート研修	施設・団体等でボランティアコーディネーションに関わる職員	1	1	1	30	16	6

### 3 調査・研究・広報

#### (1) 調査

名称	回数	日程
令和4年度「ふくしのまちづくり講座」実施校(地)区の調査	1	令和5年10月6日～11月7日

#### (2) 広報紙・パンフレット・事業報告書の作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 (『北九州市社協だより』掲載)	160,000部	令和5年5月1日・8月1日 11月1日・令和6年1月15日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	3,800部	令和5年4月7日
令和4年度事業報告書	HP掲載	令和5年6月26日

## 4 過年度の参加者推移

### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	延べ参加人数 (人)
R1	13	34	1,152
R2	17	33	978
R3	17	33	916
R4	15	28	828
R5	18	33	994

### (2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
R1	10	14	365
R2	10	13	283
R3	10	13	217
R4	10	13	249
R5	7	10	216

### (3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
R1	19	21	1,363
R2	22	24	826
R3	11	13	598
R4	11	13	738
R5	11	13	710

### (4) 企業におけるボランティア・市民活動者の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
R1	1	1	20
R2	2	2	49
R3	2	2	33
R4	2	2	27
R5	2	2	20

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
R1	2	2	33
R2	2	2	38
R3	2	2	17
R4	1	1	11
R5	1	1	16

(6) 延べ研修参加人数

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
R1	45	72	2,933
R2	53	74	2,174
R3	42	63	1,781
R4	39	57	1,853
R5	39	59	1,956

## 令和5年度 まちづくりセミナー実施要領

# 「私たちにもできる！ 身近なことから、まちづくり」 ～地域の力で、地域に根差したまちづくりを 進めているグループや団体の事例に学ぶ～

- 1 目的** “まちづくり”と一言で言っても、地域によって活動は様々です。しかし、そこに共通しているのは、「私たちのまちの良さって何だろう？」とみんなで考え、協力しながら活動に取り組んでいるということです。今回は、地域に根差したまちづくりを実践するグループや、団体の活動事例から、私たちのまちをもっと「大好き」になるために、今自分にできること、地域にできることを一緒に考えたいと思います。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 12 階H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** テーマに関心のある方 30 名  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700 円（研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）

## 6 日程・内容

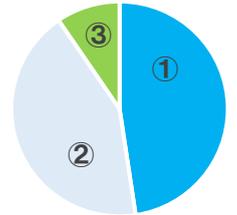
	日時	内容	講師
一 日 目	12月9日 (土) 10:00～ 12:00	コーディネーター 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一  事例Ⅰ ■「若松TERAKOYAプロジェクト」 ～地域の人と人とのつながりのコミュニ ティ再生を目的に、交流の場（縁側）や学 びの場（寺子屋）づくりへの取組～	若松TERAKOYAプロジェクト 代表 楠 稔 幸
	12月16日 (土) 10:00～ 12:00	事例Ⅱ ■「ひばりヶ丘次世代型町内活動コミュニ ティ創設の推進」 ～持続可能な自治会の仕組み確立に向け た取組～	小倉南区ひばりヶ丘町内自治会 会長 樽 角 健 一

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	31人 17・14人	25人 80.6%	50人	67.5才			2日	4日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	24件 96%	満足できたか?	10 41.7%	9 37.5%	2 8.3%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 同じ北九州に住む様々な地域の方が集まることによって共通の課題と地区によって異なる課題が見えてきて大変参考になりました。
	■ 自治会内での各個人の仕事の軽減に関して非常に参考になりました。
	■ 先進的な取組を教えていただき、自治会の世代交代を目指すには仕組み自体を新しく改変していく必要があると思いました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回は、グループワークを行ったことで様々な地域の問題点や情報の共有もでき受講者の活動意欲に繋がる研修となった。
	■ LINE・ホームページ・ネットを利用したまちづくりの取組み方を学び、先進的な自治会運営を共有できたことは、それぞれの地域活動へのヒントとなった。
	■ 来年度は、校区単位での活動事例なども研修に取り入れたい。

■ 研修風景

<p>一丁目 「若松TERAKOYA(アノジエクト)」地域の人と人とのつながりの「コミュニティ再生を目的に、交流の場縁側や学びの場(金子土座)づくりへの取組」</p>		<p>二丁目 グループワーク</p>	
<p>二丁目 「ひばりヶ丘次世代型町内活動「コミュニティ創設の推進」」持続可能な自治会のしくみ確立に向けた取組」</p>		<p>二丁目 ディスカッション</p>	

# 子育て支援ボランティア養成講座 実施要領

## ～新たな社会問題に対応する講座～

- 1 目的** 子どもはみな、若木のように伸び伸びと健やかに育つ力を持っています。  
しかし、成長する過程では、学校や家庭のことで悩んだりするだけでなく、時には貧困、虐待、いじめによる不登校や自殺などの厳しい環境にさらされる時もあります。子どもの異変に気付いた時に差し出された手を握り返し、暖かな陽の光を注ぎ、子どもの育つ力を助けられるようなボランティア活動について学びます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 子どもに向けたボランティア活動に意欲的な方（定員30名）  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700円（研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）

## 6 日程・内容

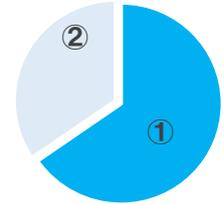
	日時	内容	講師等
一回目 6月17日 (土)	13:00～	受付	
	13:30～	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	13:45～ 14:25	子どもから高齢者まで多世代共生の居場所づくり～子ども食堂とは～	北九州市子ども家庭局 子育て支援課 子ども食堂担当係長 上島 未知人
	14:25～ 15:15	あそけんはコロナだから活動を増やしました。子どもたちと一緒に過ごし、食品ロスを解消する、誰でもどこでもできる取り組みの紹介	特定非営利活動法人あそびとまなび研究所 理事長 秋葉 祐三子
	15:15～ 15:25	休憩	
	15:25～ 16:15	みんな集まれ！力を合わせよう。私たちにできる子ども食堂応援活動～学生部会の成果報告～	子ども食堂ネットワーク北九州学生部会「ちるっく！」
	～16:30	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	32人	30人	30人	59.7才		1日	3日
	7・25	93.8%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか と言う 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	30件		17	9	0	0	0
	100%		56.7%	30%	0%	0%	0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども食堂の利用者が子ども以外も対象になっていて、保護者や地域住民のためにもなっていると知り、子ども食堂が地域の中でどのような位置づけがされているのかを学ぶことができた。</li> <li>生き生きとした活動の様子が伝わり、大変刺激を受けた。大きなことをされているが、目の前の子どもを大切に思いやる細やかな配慮や覚悟が伝わってきた。</li> </ul>
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現役大学生から年配の子育てマイスターまで幅広い年齢層の方々から受講頂けた。</li> <li>子ども食堂の立ち上げや、ボランティア活動に意欲的な受講者が多く、質問コーナーでも、活動場所についてのアプローチの方法や、子ども食堂立ち上げの資金調達についてなど、多岐にわたる質問が出て、8人子ども食堂ボランティア登録につながることができた。</li> </ul>
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		子どもから高齢者まで多世代共生の居場所づくり子ども食堂について	
あそけんはコロナだから活動を増やしました。子どもたちと一緒に過ごし、食品ロスを解消する。誰でもできる取り組みの紹介		みんな集まれー力を合わせよう。私たちができる子ども食堂応援活動！学生部会の成果報告！	

## 子育て支援ボランティア養成講座②

～子ども食堂とフードバンク活動を通じて  
やさしい未来を考える～

### 実施要領

— 令和5年度 新たな社会問題に対応する講座 —

- 1 目的** 子どもの育つ力を助けられるようなボランティア活動である子ども食堂と食堂を支援するボランティア活動について学びます。  
子ども食堂について、また子ども食堂の支援を通じて、誰も取りこぼさない共生社会の実現を目指す活動について学び、併せて、社会にあふれる食品ロス、「もったいない」を「ありがとう」へ変える取り組みを通じて、子ども食堂や生活に困窮する状況にある方々を支えるフードバンク活動についても学び、参画について考えます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 子どもに向けたボランティア活動に意欲的な方（定員30名）  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700円（研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容**

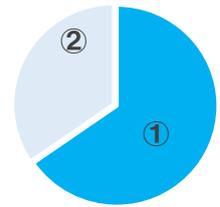
日時	内容	講師等
13:00～	受付	
13:30～	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:40～ 14:25	(^^)みんな笑顔(^^)～子ども食堂☆きら きら清水の活動について～ こども食堂の支援を通じて、 やさしい未来をつくりたい ～全国での活動について～	NPO法人Smileネットワーク北九州 理事長 山縣 郁子
11月18日 (土) 14:25～ 14:50	子ども食堂ってどんなところ？ ～子ども食堂の支援と食堂でのボランティ ア活動について～	北九州市子ども家庭局 子育て支援課 子ども食堂担当係長 上島 未知人
14:50～ 15:00	休憩	
15:00～ 15:45	食品ロス、「もったいない」を「ありがとう」へ変える取り組みを通じて、「すべての子どもたちが大切」とされる社会の実現を目指す、フードバンク北九州ライフアゲインの活動について	特定非営利活動法人 フードバンク北九州ライフアゲイン 理事長 原田 昌樹
～16:00	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	33 人	27 人	27 人	58.7 才		1 日	2.5 時
	10・23	81.8%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	26 件	満足 できたか?	17	9	0	0	0
	96.3%		65.4%	34.6%	0%	0%	0%



主な意見	■ 言葉として「子ども食堂」は知っていましたが、その役割や活動・取り組みを知る事ができました。
	■ 子ども食堂の動き（活動の様子）をしっかりと教えて頂けて、ボランティアへの意欲が増してきました。
	■ すごく共感できた。地域や私たちも何が出来るか？考えていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 前回の子育ち支援ボランティア養成講座から続けて3名が受講した。
	■ 講座を受けて、子ども食堂・フードバンクのボランティアを“是非やってみよう”“今後検討してみる”と言う方が参加27人中19人いた。
	■ 子どもを取り巻く環境を共有でき、ボランティアとしての素養を上げる講座を提供できた。

■ 研修風景

オリエンテーション		「みんな笑顔♪子ども食堂☆まりまり清水の活動について♪子ども食堂の支援を通じて、地域に未来を創りたいという国での活動について」	
		「子ども食堂の役割について学びたいな」という声があがり、「子ども食堂の活動を通して、地域に未来を創りたいという国での活動について」	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座(門司区 田野浦校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。  
 田野浦校区では、講座を通じて、活動者のやりがいとともに生活支援活動への気持ちを高め、みんなが安心して暮らせる支え合いのまちへのあゆみを進めていきます。
- 2 実施主体** 田野浦校区社会福祉協議会、北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 田野浦公民館（門司区田野浦1-1-5）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方、校区の助け合い活動に参画されている方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「誰もが明るく安心して暮らせるまち 田野浦」

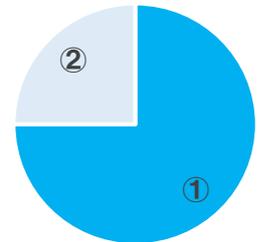
日 程		内 容	講 師 等
一日目 1月 30日 (火)	10:15 ～	<b>開 会・オリエンテーション</b>	田野浦校区社会福祉協議会
	10:15 ～ 10:30	<b>報 告</b> 田野浦校区の生活支援活動について	田野浦校区社会福祉協議会 会 長 金子 篤
	10:30 ～ 11:45	他地区の地域生活支援活動について聞いてみよう 「たかすちよこっと応援タイ」 ・質疑応答	若松区高須地区社会福祉協議会 会長 香月 英彦 地域生活支援相談員 山本 直子 香月 利都子
二日目 2月 9日 (金)	10:15 ～ 10:25	よりよいまちを目指して～田野浦校区の取り組みについて～	田野浦校区社会福祉協議会 会 長 金子 篤
	10:25 ～ 10:55	みんなが安心して暮らせる田野浦のまちづくりについて、何が必要？何ができるか考えよう	門司区社会福祉協議会
	10:55 ～ 11:45	いつまでも元気で暮らすために～シナプソロジーなどを取り入れて 楽しく認知症を予防しましょう～	北九州スポーツクラブ連絡会
	11:45 ～	<b>閉 会</b>	門司区社会福祉協議会 事務所長 上田 善浩

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	17 人	15 人	40 人	— 才		2 日	2 時間
	10・7	88.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	21 件	満足 できたか?	12	4	0	0	0
	84.0 %		66.7 %	25.0 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 田野浦が実際に動き始める時にとって、とても有意義なお話が聴けました。活動を通して住民の方々の課題や環境がわかるということにハッとさせられました。ふれあいカフェやサロン活動の内容も、とても興味深かったです。
	■ 田野浦校区で何が必要なのか、何ができるのかを皆さんと考えていきたいと思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今まで校区で無償の生活支援活動は行われていたが、有償化への転換にあたって、校区から、先進地域の活動やお助けタイの立ち上げプロセス、有償での実施の方法、活動の手順や方法、人員配置、金額の積算、有償活動の住民への説明方法、収入の使途に至るまで、細部にわたり先進地区から話を聞きたいというリクエストに応える構成とした。参加者の熱意も感じられ、活動の活性化の支援となった。
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		一丁目 「他地区の生活支援活動について聞いてみよう」たかすちよここと応援タイ」・質疑応答」	
二丁目 「みんなが安心して暮らせる田野浦のまちづくりについて、何が必要？何ができるか考えよう」		二丁目 「つまでも元気で暮らすためにシナプソロジーなどを取り入れて楽しく認知症を予防しましょう」	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（門司区・大里柳校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。  
大里柳校区では、参加者があらためて地域で助け合う事の大切さを学びながら、みんなが安心して暮らせる支え合いのまちを目指して、福祉活動への気持ちを高め、小地域福祉活動計画策定へのあゆみを進めていきます。
- 2 実施主体** 大里柳校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 大里柳自治公民館（北九州市門司区柳町2—9—1）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方 30人
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「人と地域をつなぐ」

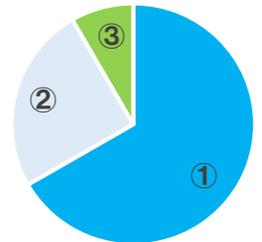
日 程		内 容	講 師 等
一日目 2月 14日 (水) 延期後	19:00 ～ 19:05	開 会	大里柳校区社会福祉協議会 会長 吉野 益生
		オリエンテーション	大里柳校区社会福祉協議会
	19:05 ～ 20:00	「支え合いのまちづくりのために必要なことは何か」	北九州市立大学 地域創生学群 特任教員 末永 和也
二日目 3月 5日 (火)	19:00 ～ 19:15	「日頃の見守り活動はみんなが安心して暮らせるまちへの第一歩～ふくしのまちづくり計画について～」	門司区社会福祉協議会 主事 島田 彩也香
	19:15 ～ 19:55	「いつまでも元気で暮らすために～シナプソロジーなどを取り入れて 楽しく認知症を予防しましょう～」	北九州スポーツクラブ連絡会 理事長 田村 香代子
	19:55 ～ 20:00	閉会	門司区社会福祉協議会 事務所長 上田 善浩

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	34 7・27人	28 —%人	47 人	— 才		2 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか と言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	12 件	満足 できたか?	8	3	1	0	0
	63.2 %		66.7 %	25.0 %	8.3 %	0.0 %	0 %



主な意見	■ 若い人は民生委員や保護司などの存在を知らない人が多い。地域の中の役割を年少時から学び機会があると思う。福祉教育はとても大切だと思う。
	■ 人とつながりを持つことが必要だとは思いますが、皆が皆、同じ考えではないので、苦労が多いかと思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 次年度から小地域福祉活動計画を策定する校区であるので、地域の高齢化の現状と住民同士の互助とふれあいネットワーク活動の有用性と福祉教育の必要性を学び、次年度の地域課題抽出の協議にスムーズにつながる構成とした。地域課題に言及する感想が複数の住民からあったので、成果があったと思う。
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		一日目「支え合いのまちづくりのために必要なことは何か」	
二日目「日頃の見守り活動はみんなが安心して暮らせるまちへの第一歩。ふくしのまちづくり計画(1/5)」		二日目「いつまでも元気で暮らすためにシニアソロソリーなどを取り入れて楽しく認知症を予防しましょう」	

— 令和4年度 —

# ふくしのまちづくり講座（門司区・小森江東校区）実施要領

**1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。

小森江東校区では、「声かけ、見守り、思いやりで地域の絆を」をスローガンに、講座を通じて、高齢化が進む地域の中で住民自身が健康づくりや介護予防に取り組み、共有することで、支え合いの輪を広げ、暮らしやすい地域に向けて考え、学び、取り組むきっかけとします。

**2 実施主体** 小森江東校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市

**3 会 場** 小森江東市民センター（北九州市門司区風師3-9-20）

**4 対 象 者** 福祉協力員（町内会長）、民生委員・児童委員、校区にお住まいの方、社会福祉施設 等

**5 受 講 料** 無料

**6 タイトル** 「小森江東でずっと暮らしたい！支え合いのまちづくり」

**7 研修日程・内容**

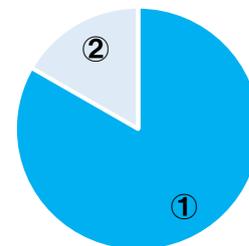
日 程		内 容	講 師 等
一日目 3月 17日 (金)	14:00 ～ 14:05	開 会・オリエンテーション	小森江東校区社会福祉協議会 副会長 近藤 栄之進
	14:05 ～ 14:35	【グループワーク・情報交換】 「支え合いのまちづくり～ふれあい ネットワーク活動について～」	小森江東校区社会福祉協議会 会長 都城 俊彰
	14:35 ～ 15:30	【講 演】 「介護保険のしくみについて～利用 するのはどんな時?～」 ・質疑応答	特別養護老人ホーム すみれそう 生活相談員 吉村 理恵
二日目 R5 4月 18日 (火)	14:00 ～ 15:20	【講 演】 「介護予防にみんなで健康づくり～ フレイル予防のやさしい筋トレと楽 しい脳トレ～」	活法整体技療士 神納 直子
	15:20 ～ 15:30	閉会	小森江東校区社会福祉協議会 事務局長 中原 稔

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	18人	18人	32人 (R4 18 R5 14)	—才		2日	3日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	12件 85.7%	満足 できたか?	10 83.3%	2 16.7%	0 00%	0 00%	0 00%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>すみれさんの講師の話は分かりやすく、相談に行こうかなと思う参加者もいるのではないかと思います。</li> <li>介護やケアマネージャーなどについて少し理解することができた。</li> <li>実際のフレイル予防の実践を体験して、体も頭も温まりました。クイズ、楽しかったです。</li> </ul>
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小森江東校区では、地域の障害者福祉施設と協働で、自分で買い物に行くことが難しい高齢者のために買い物支援を行うモデル事業をはじめた先進校区である。今回の講座は福祉協力員・民生委員中心に参加されたが、介護保険についての知識がまだ浸透していないのと、校区の要望があり今回の研修で周知を行った。</li> </ul>
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		一日目「支え合いのまちづくりのふれあいネットワーク活動」	
一日目「介護保険のしくみ」について利用者の疑問・質問に答える		一日目「介護保険にみんなが健康づくりにフレイル予防のやりかた」を楽しく学ぼう	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（小倉北区・今町校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校(地)区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
- 今町校区では、地域にお住まいの方や福祉協力員・民生委員・児童委員等を対象に、誰にも等しく訪れる老いとともに身近な問題となる認知症について知り、声かけや接し方・予防について学ぶ講座を行うことで、超高齢社会の中で支え合いの地域づくりに向けて何をすべきかを参加者みんなで考え、学ぶきっかけとします。
- 2 実施主体** 今町校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 今町市民センター（北九州市小倉北区今町3丁目19-2）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方、福祉協力員、民生委員・児童委員 等
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「今町で ず〜っと暮らしたい！」  
 ～人生100年時代！いつまでも安心して暮らすために～

**7 研修日程・内容**

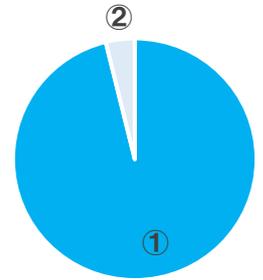
日 程		内 容	講 師 等
令和5年 12月 13日 (水)	14:00 ～	開 会	今町校区社会福祉協議会 会長 福丸 清生
	14:00 ～ 14:15	【事業説明】 今町がもっともっと好きになるプラン ～今町校区社協の小地域福祉活動について～	小倉北区社会福祉協議会
	14:15 ～ 15:45	【講 話】 認知症ってなに？	医療法人清陵会南ヶ丘病院 院長 小原 尚利
令和6年 2月 28日 (水)	10:00 ～ 11:30	【実技と講話】 笑って楽しく認知症予防！ ～脳と身体をリフレッシュ～	Smile factory EGG 代表 尾中 美穂
	11:30 ～ 11:45	【事業説明】 今町校区の基本理念『今がいい！ これからもいいまちづくり』に向けて	今町校区社会福祉協議会 会長 福丸 清生 小倉北区社会福祉協議会 地域支援コーディネーター
	～ 11:45	閉 会	今町校区社会福祉協議会 会長 福丸 清生

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	46 人 12.34	46 人 100%	85 人	— 才		2 日	3 日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	29 件 74.4%		25 86.2%	1 3.4%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 認知症についてとても勉強になり、これからの参考になることがあり、参加してよかったと思いました。</li> <li>■ 認知症が病気であることが良くわかった。</li> <li>■ 今町校区の高齢化を改めて知りました。今後もこのような講座があればと思います。</li> </ul>
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の高齢化に伴い生じてくる問題である認知症の理解、予防法について実技を交えて学ぶことで地域住民の今後の参考になった。</li> <li>■ 併せて活動者として認知症の正しい知識を見守り等の際に小地域福祉活動に役立てて、助け合いの活動の充実・促進としたい。</li> </ul>
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		一日目「認知症ってなに?」	
二日目「笑って楽しく認知症予防〜脳と身体をリフレッシュ〜」		二日目「今町校区の基本理念」今がいのこれからまいります」	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（小倉北区・寿山校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校(地)区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。  
 寿山校区では、参加者があらためて地域で助け合う事の大切さを学びながら、参加者同士の交流を図り、福祉活動への気持ちを高め、地域で楽しく共に活躍できる活動者を増やす事を目指します。
- 2 実施主体** 寿山校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 寿山市民センター（北九州市小倉北区大島3丁目10-2）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方、福祉協力員、民生委員・児童委員 等
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「ず〜っと寿山で暮らしたい！  
 ~住み慣れた地域でつくる心ゆたかな暮らし~」

**7 研修日程・内容**

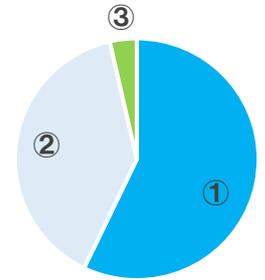
日 程		内 容	講 師 等
一日目 1月 17日 (水)	19:00 ~ 19:05	開 会	寿山校区社会福祉協議会
	19:05 ~ 20:30	【講 演】 支え合いのまちづくりのために必要な ことは何か	北九州市立大学 地域創生学群 特任教員 末永 和也
二日目 2月 20日 (火)	19:00 ~ 20:30	【グループワーク】 支え合いのまちづくりについて考え てみよう	北九州市立大学 地域創生学群 特任教員 末永 和也
	20:30 ~	閉 会	寿山校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	47 人	39 人	72 人	— 才			2 日	3 日
	16.31	83.0						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
	件		満足できた	どちらかと言つと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	31 件		16	11	1	0	0
	93.9 %		51.6%	35.5%	3.2%	0%	0%



主な意見	■ 他地区の困っている事やその他知らなかった事を知る事が出来、良かったと思います
	■ 短い時間の中で問題点はしっかり課題が出たと思う。この解決策は難しいとは思いますがきちんと出来ればと思う。
	■ 支え合いのまちづくり。大いに意義がありました。
	■ コミュニケーションの大事な事、一人でも多く声掛けをしようと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目は北九州市立大学末永先生による地域で生活する上での具体的な困りごとや小地域福祉活動計画の必要性についての講義とした。
	■ 2回目は、地域の具体的な困りごとに対し、地域で支え合う方法等グループワークで意見交換をする中で、計画づくりにあたっての課題抽出ができた。
	■ 研修をきっかけに住民自身が積極的に地域福祉活動に関わっていくモチベーションが生まれたと思う。

■ 研修風景

開会挨拶		一日目「支え合いのまちづくりのために必要なことは何か」	
二日目「支え合いのまちづくりについて考えてみよう」		グループワーク	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（小倉南区・横代校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。  
講座では、認知症に関する学びをもとに、みんなが安心して暮らせる支え合いのまちを目指して、福祉活動への気持ちを高め、横代校区における小地域福祉活動計画策定へのあゆみを進めていきます。
- 2 実施主体** 横代校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 横代市民センター（北九州市小倉南区横代東町 4-13-1）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちを目指して」
- 7 研修日程・内容**

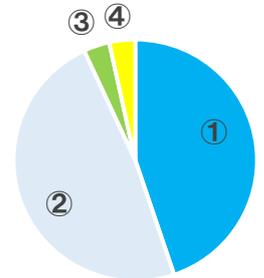
日 程		内 容	講 師 等
一日目 11月 24日 (金)	19:00 ～ 19:05	開会あいさつ	横代校区社会福祉協議会
	19:05 ～ 20:00	講義 「認知症になっても・・・ ～高齢者が楽しく集う新しい形のデイサービス の現場から」	合同会社 100FUKU 代表/ 北九州市立大学 非常勤講師 勅使河原 航
二日目 1月 19日 (金)	19:00 ～ 19:55	講義・グループワーク 「みんなが安心して暮らせる支え合いの まちを目指して ～ふくしのまちづくり計画の策定に向け て～」	小倉南区社会福祉協議会 主事 大矢 剛
	19:55 ～ 20:00	閉会	横代校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	45 人	86 人	— 才		2 日	2 日
	—	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	29 件		13	14	1	1	0
	70.7 %		44.8 %	48.4 %	3.4 %	3.4 %	0 %



主な意見	■ 認知症に自分になったときの心構え。親がもし認知症になったときに寄り添える心構えを勉強させていただき、とてもためになりました。
	■ 5か年計画に色々希望が反映されることを願っています。横代はとても良いところだと思っています。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 住民の言葉からも、もともと地域活動への住民の関心や協力度の高い地域であるので、研修は小地域福祉活動計画づくりを軸に、住民自身に積極的に校区のことを考える機会をもつ組み立てとした。研修で出た、住民の様々な要望や意見が今後の計画策定にスムーズにつながっていく流れができた。
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		一日目 研修風景	
一日目「認知症になっても・・・高齢者が楽しく集う新しい形のサービスの現場から」		二日目「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちを目指して～ふくしのまちづくり計画の策定に向けて～」	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（小倉南区・若園校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。  
 若園校区では、みんなが安心して暮らせる支え合いのまちを目標にした元気プランをもとに、防災について学びながら、日頃の見守りや地域で助け合う事の大切さを再確認し、福祉活動への気持ちを高め、よりよいまちを目指していきます。
- 2 実施主体** 若園校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 若園市民センター（北九州市小倉南区若園 4-1-50）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「ワンチーム若園！～『防災』の取り組みは日頃の見守りから～」

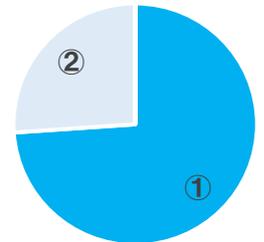
日 程		内 容	講 師 等
一日目 1月 26日 (金)	18:30	開 会	若園校区社会福祉協議会
	18:40	オリエンテーション	若園校区社会福祉協議会 小倉南区社会福祉協議会
	18:40 ～ 20:00	「災害への備え①～あなたの意識をアップデートしましょう～」	北九州市立大学 地域創生学群 准教授 村江 史年
二日目 2月 22日 (木)	18:00 ～ 19:30	「災害への備え②～ながら防災のススメ～」	北九州市立大学 地域創生学群 准教授 村江 史年
三日目 3月 29日 (金)	18:00 ～ 18:15	若園校区の元気プラン「ワンチーム若園！」の取り組みについて	若園校区社会福祉協議会
	18:15 ～ 19:25	元気プランの取り組みについて 考えよう！ ～よりよい若園のために～	小倉南区社会福祉協議会
	19:25 ～ 19:30	閉会	若園校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	66 人	52 人	122 人	— 才		3 日	4.5 時間
	—・—	78.8 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	26 件	満足 できたか?	17	6	—	—	—
	78.8 %		65.4 %	23.1 %	0 %	0 %	0 %



意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実際に住んでいる人々のリアルな視点で災害対策という大きなテーマについて話し合いができるという点で、非常に有意義だと感じました。</li> <li>■ 町内会、民生委員、老人クラブ等の方々、それぞれの立場で知恵を出すことで、新しいアイデア・発見がありました。その中で共通の意見として「人間関係づくりが大切」という一致があったのが印象的でした。</li> </ul>
----	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 普段災害経験がない地域での話し合いであったが、防災の目でみると普段気づかない危険箇所が地域に複数ある事、防災対策や避難場所を日頃から考えてみる事等を他地区の住民間で情報・意見交換することで、「安全だから大丈夫」の視点から「平時に防災を考える」視点にシフトチェンジでき、次の取り組みへのつながりができた。</li> </ul>
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		一 目 目「災害への備え①～あなたの意識をアップデートしましょう～」	
二 目 目「災害への備え②～ながら防災のススメ～」		三 目 目「元氣ボランティアの取り組みについて考えよう～よりよい若園のために～」	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（二島校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。  
二島校区では、災害をテーマとした講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学び、次年度の防災へ向けた取り組みへ繋げること。また活動者との交流の中で、地域活動への関心を高めることを目的に、課題解決や地域で活躍できる人材の獲得を図ります。
- 2 実施主体** 二島校区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 二島市民センター多目的ホール（若松区東二島2丁目7-3）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 誰もが安心して暮らせる思いやりのまち ふたじま
- 7 研修日程・内容**

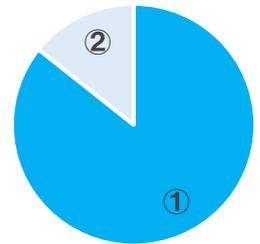
日 程		内 容	講 師 等
一日目 8月 8日 (火)	19:00 ～	開 会	二島校区社会福祉協議会 会 長 山下 憲一
		オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 若松区事務所 主事 前田 純志
	19:05 ～ 21:00	自然災害～二島のここが心配! ～防災・減災の目で 自分のまちを見てみよう～	株式会社喜楽学舎 代表取締役/畠田公民館長 防災ファシリテーター 古野 陽一
二日目 8月 29日 (火)	19:00 ～ 20:55	防災をまちづくりで考える	株式会社喜楽学舎 代表取締役/畠田公民館長 防災ファシリテーター 古野 陽一
	～ 21:00	閉 会	二島校区まちづくり協議会 会 長 内藤 達次郎

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)						
	21人	24人	45人	—才			延2日	延4時間
	9・12	—%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか と言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	16 件 66.7%	満足 できたか?	12 75%	2 12.5%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 自分の地域の危険性がわかった。断層の上に住んでいるとは思わなかった。
	■ 災害弱者を出してはならない。防災隣組の形式を図りたいと感じた。
	■ 防災だけでなく、隣近所とのつながりをいかに作っていくか、改めて考えさせられました。もっと多くの人達にこの講話を聴いてほしいと思います。
	■ 防災を町内で考えることが大事だと思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 研修1回目は配布されている北九州市防災ガイドブックなどで、地域の自然災害について講義し、2回目は防災とまちづくりについて考える構成とした。
	■ 災害危険区域に入っている場所も再確認し、防災についての意識が高まった。
	■ 住民自身が防災訓練や対策について考えるきっかけとなり有意義な研修となった。

■ 研修風景

開会 一島校区社会福祉協議会 会長 山下 憲一		一日目 自然災害と島のこが心配 防災・減災の目で自分のまちを見てみよう	
二日目 防災をまちづくりで考える		開会 一島校区まちづくり協議会 会長 内藤 達次郎	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（藤ノ木校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。  
藤ノ木校区では、災害をテーマとした講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学び、次年度の防災へ向けた取り組みへ繋げること。また活動者との交流の中で、地域活動への関心を高めることを目的に、課題解決や地域で活躍できる人材の獲得を図ります。
- 2 実施主体** 藤ノ木校区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 藤ノ木市民センター（若松区赤島町20-13）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 藤ノ木発！！ひとづくり・まちづくり

～私たちにできる安心・安全とは～

## 7 研修日程・内容

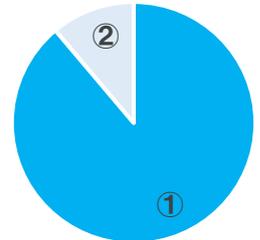
日 程		内 容	講 師 等
一日目 9月5日 (火)	10:30 ～	開 会	藤ノ木校区社会福祉協議会 会 長 濱谷 正人
		オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 若松区事務所 主事 前田 純志
	10:35 ～ 12:00	自然災害～藤ノ木のここが心配！ ～防災・減災の目で自分の まちを見てみよう～	株式会社喜楽学舎 代表取締役 畠田公民館長 防災ファシリテーター 古野 陽一
二日目 9月15日 (金)	10:30 ～ 11:55	地域の防災について個人、 地域で避難をどう考えるか	株式会社喜楽学舎 代表取締役 畠田公民館長 防災ファシリテーター 古野 陽一
	～ 12:00	閉 会	藤ノ木校区社会福祉協議会 副会長 中嶋 繁行

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	23 人	25 人	48 人	— 才		2 日	3 日
	11・12	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	20 件		16	2	0	0	0
	80 %		80%	10%	0%	0%	0%



主な意見	■ 地元の現状を教えていただき、共助の必要性を感じました。
	■ 在宅地域が土砂災害地区なので、自治会活動で災害対策必須を感じました。
	■ 避難のタイミング、災害時に準備する物の時期の確認が出来た。地域での共助の方法をイメージすることが出来た。
	■ 防災隣組を今年度中に構築したい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目は、防災ファシリテーター古野先生による地域の防災の取組についての講義とし、2回目は避難について意見交換をするためにグループワークで構成した。
	■ 話し合いは、5グループに分かれ活発な意見交換が行われていた。
	■ 地域の防災、避難について考えるきっかけになった研修で非常に有意義だった。

■ 研修風景

<p>開会 副会長 中嶋 繁行</p> <p>藤ノ木校区社会福祉協議会</p>		<p>一日目 自然災害で藤ノ木のことが心配 防災・減災の目で自分のまちを見つめよう</p>	
<p>二日目 地域の防災について個人 地域で避難をどう考えるか</p>		<p>非常時持ち出し品について 副会長 中嶋 繁行</p>	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（八幡東区・前田第四地区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校(地)区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。  
前田第四地区では、福祉協力員やふれあい通信員、民生委員・児童委員等を対象に、地域福祉活動や災害時の助け合い活動に関する講座を行うことで、支え合いの地域づくりに向けて何をすべきかを参加者みんなで考え、学ぶきっかけとします。
- 2 実施主体** 前田第四地区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 平野市民センター（北九州市八幡東区桃園4-1-1）
- 4 対 象 者** 福祉協力員（町内会長）、ふれあい通信員（組長）  
民生委員・児童委員 等
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「みんなで取り組む支え合いのまちづくり  
～前田第四地区をずっと住み続けたいまち～」

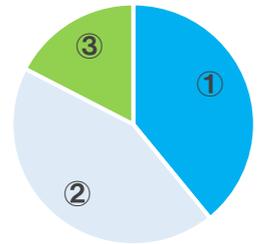
日 程		内 容	講 師 等
一日目 10月 2日 (月)	19:00 ～ 19:05	開 会・オリエンテーション	前田第四地区社会福祉協議会 会長 久野 尚也
	19:05 ～ 20:00	【事業説明】 「災害時の助け合い活動（社協活動） について～災害被災地から学ぶふれ あいネットワーク活動～」	八幡東区社会福祉協議会 事務所長 近藤 広一
二日目 11月 6日 (月)	19:00 ～ 19:55	【講 演】 「これからの社協活動～5年後、10 年後を見据えて～」	福岡県立大学 社会福祉学科 教授 村山 浩一郎
	19:55 ～ 20:00	閉会	前田第四地区社会福祉協議会 会長 久野 尚也

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	30 人	23 人	49 人	— 才		2 日	2 日
	- - -	- %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	23 件	満足 できたか?	9	10	4	0	0
	88.5 %		39.1 %	43.5 %	17.4 %	0.0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域のネットワークづくりの大切さを学びました。一人暮らしの方は、逆に人との触れ合いを嫌う方もいるので、難しい部分もあります。</li> <li>■ 普段から隣近所のことを知っておくことの大切さを改めて感じた。「見守り」「助け合い」「話し合い」を日頃からしていく。</li> </ul>

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地区では自治会ベースでふれあいネットワークの見守り活動が行われている地域特性があり、町内会未加入者に対する対応についてどうするのか疑義が生じている。災害をテーマに全ての住民に互助とふれあいネットワーク活動が必要であり、社協の存在意義まで枠を広げて問いかけ、学ぶ機会提供ができた。</li> </ul>
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		「一日目」「災害時の助け合い活動(社協活動)について(災害被災地から学ぶふれあいネットワーク活動)」	
「二日目」「これからの社協活動(5年後、10年後を見据えて)」		閉会	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（八幡東区・尾倉第三地区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為、校(地)区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
- 尾倉第三地区では、地域にお住まいの方や福祉協力員・ふれあい通信員・民生委員・児童委員等を対象に、誰にも等しく訪れる老いとともに身近な問題となる認知症について知り、声かけや接し方・予防について学ぶ講座を行うことで、超高齢社会の中で支え合いの地域づくりに向けて何をすべきかを参加者みんなで考え、学ぶきっかけとします。
- 2 実施主体** 尾倉第三地区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 尾倉市民センター（北九州市八幡東区尾倉1-15-2）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方、福祉協力員（町内会長）、ふれあい通信員（組長）、民生委員・児童委員 等
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「認知症を知ろう」
- 7 研修日程・内容**

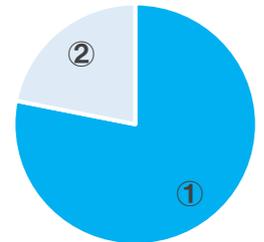
日 程		内 容	講 師 等
一日目	19:00 ～ 19:05	開 会	尾倉第三地区社会福祉協議会 会長 岡田 寿己夫
	11月 15日 (水)	【事業説明】 「みんなで支え合い明るく住みよいまちづくり～社会福祉協議会の活動とは～」	八幡東区社会福祉協議会 地域支援コーディネーター 酒見 佳代
	19:25 ～ 20:15	【講 演】 「認知症を知ろう～あなたと身近な方のためにも～」	認知症サポーター キャラバンメイト 猪熊 和仁
二日目	19:00 ～ 19:55	【実技】「笑って楽しく認知症予防！～脳と身体をリフレッシュ～」	Smile factory EGG 代表 尾中 美穂
	R6. 2月 21日 (水)	【事業説明】 「さりげない見守りから、困りごとに気づいてつなぐ。～安心して暮らせる より良い尾倉第三地区へ～」	尾倉第三地区社会福祉協議会 会長 岡田 寿己夫
	20:10 ～ 20:15	閉 会	尾倉第三地区社会福祉協議会 会長 岡田 寿己夫

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	50 人	45 人	85 人	— 才			2 日	2.5 時間
	10・35	— %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	32 件	満足 できたか?	25	7	0	0	0
	80.0 %		781 %	21.9 %	0.0 %	0.0 %	0 %



主な意見	■ 資料が大変わかりやすかった。「無理をしない！」このキーワードを基にできるだけの協力をしたい。
	■ 尾倉地区でみんなで思いやって、支え合ってよい社会を作っていこうという趣旨がよくわかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 区社協から、社協活動の事業説明だけでなく、現在の具体的な活動内容を説明することで参加者から助け合いの必要性や、地域が一体になり見守り活動が必要であるとの気づきを引き出すことができた。併せて高齢化とともに避けては通れない認知症についての理解と対応について学ぶ機会提供ができた。
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		「一日目」認知症を知ろう〜あなたと身近な方のためにも〜	
「一日目」笑って楽しく認知症予防〜脳と身体をリフレッシュ〜		「一日目」さげない見守りから、困りごとへ〜安心して暮らせるよりの尾倉第三地区へ〜	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（八幡西区・折尾東校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。  
折尾東校区では、講座を通して、参加者があらためて地域で助け合う事の大切さを学びながら、参加者同士の交流を図り、福祉活動への気持ちを高め、地域で楽しく共に活躍できる活動者を増やす事を目指します。
- 2 実施主体** 折尾東校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 折尾東市民センター（八幡西区光明2丁目2-50）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「みんなでまちづくり  
～いつまでも住み続けたいまち折尾東～」
- 7 研修日程・内容**

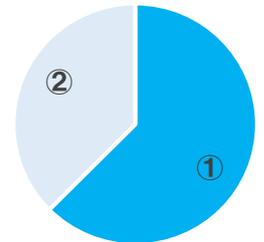
日 程		内 容	講 師 等
一日目 1月 17日 (水)	13:30 ～ 13:35	<b>開 会</b>	折尾東校区社会福祉協議会
	13:35 ～ 14:35	<b>オリエンテーション</b>	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所 (八幡西区社会福祉協議会)
	13:35 ～ 14:35	書こう、話そう、わたしのこれから。 折尾東のこれから。～私のこれからノート～	八幡西区事務所 主事 豊永 早織
	14:45 ～ 15:00	折尾東校区ふれあいネットワーク活動について	八幡西区事務所 主事 豊永 早織
二日目 2月 14日 (水)	13:30 ～ 14:30	今話題の「フレイル」を完全克服! ～目指せ！フレイルZEROに向けた健康づくり～	戸畑リハビリテーション病院 理学療法士 原田 直樹
	14:40 ～ 14:55	折尾東校区の今後の小地域福祉活動について	八幡西区社会福祉協議会
	14:55 ～ 15:00	<b>閉 会</b>	折尾東校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	44人	33人	66人	—才		2日	3日
	11・33	75%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	32件 97%	満足 できたか?	20 62.5%	12 37.5%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ いつもと違い、運動があったりと研修も楽しいなと思いました。動ける年寄りを目指したいと思います。
	■ 色々な意味で地域が変わる時だなあと感じました。
	■ 体だけでなく精神・社会的に健康でなければと思いました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目はエンディングノートについて、2回目はフレイル予防についての講義を取り入れた講座で好評だった。
	■ 福祉協力員にとって健康面や精神面でも有意義で、今後の活動に役立つような研修をこれからも目指したい。

■ 研修風景

開会挨拶		一日目 書く、話そう、わたしのこれから。折尾東のこれから。私のこれからノート	
	一日目 今話題の「フレイル」を完全克服！目指せフレイルゼロに向けた健康づくり	一日目 折尾東校区の今後の小地域福祉活動について	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（八幡西区・医生丘校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。  
 医生丘校区では、講座を通して、参加者があらためて地域で助け合う事の大切さを学びながら、参加者同士の交流を図り、福祉活動への気持ちを高め、地域で楽しく共に活躍できる活動者を増やす事を目指します。
- 2 実施主体** 医生丘校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 医生丘市民センター（八幡西区千代ヶ崎1丁目12番15号）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「もっと住み良いまちづくり  
 ～医生丘をいつまでも住み続けたいまち～」
- 7 研修日程・内容**

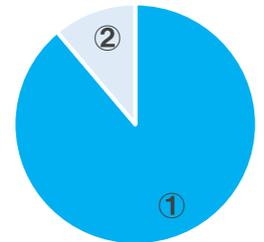
日 程		内 容	講 師 等
一 日 目 1月 20日 (土)	10:00 ～ 10:05	<b>開 会</b>	医生丘校区社会福祉協議会
	10:05 ～ 10:05	<b>オリエンテーション</b>	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所 (八幡西区社会福祉協議会)
	10:05 ～ 11:05	書こう、話そう、わたしのこれから。 医生丘のこれから。～私のこれからノート～	八幡西区事務所 主事 豊永 早織
	11:15 ～ 11:30	医生丘校区ふれあいネットワーク活動について	八幡西区事務所 主事 豊永 早織
二 日 目 2月 24日 (土)	10:00 ～ 11:00	わたしもまちもいきいき活性化！ サロンでも使える“おもしろ雑学”で 脳トレ♪	地域ボランティア 遠越 信夫
	11:10 ～ 11:25	医生丘校区の今後の小地域福祉活動について	八幡西区社会福祉協議会
	11:25 ～ 11:30	<b>閉 会</b>	医生丘校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	18人	18人	32人	—才		2日	3日
	7・11	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	10件	満足できたか?	8	1	0	0	0
	71.4%		80%	10%	0%	0%	0%



主な意見	■ 今すぐではないと思うが、人生の振り返りとこれからの事を考える良い機会となりました。
	■ エンディングテーマについて初めての経験で、大変有意義であった。
	■ できる事を少しずつと言うのはとても大切だと思います。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 地域の福祉協力員が高齢化する中、若い人を取り込む事や校区を活性化させる必要性を考える機会となる講座になった。
	■ 講師との打合せ不十分だった為、時間配分が上手くいかず、時間が足りなくなった。今後は事前の打合せを密にするよう心掛ける。

■ 研修風景

開会挨拶		一日目 書く、話す、わたしのこれから。医生丘のこれから。私のこれから。フォトス	
二日目 わたしもまちもいきいき活性化！サロンでも使える。おもしろ雑学で脳トレ！		二日目 医生丘校区の今後の小地域福祉活動について	

— 令和5年度 —

# ふくしのまちづくり講座（戸畑区・鞆ヶ谷校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。  
鞆ヶ谷校区では、講座を通して、住民一人ひとりの安全で安心な暮らしを守るために、健康づくりを通じて住民同士の交流をはかり、参加者全員でこれからの地域福祉活動の進め方について共有を図ることを目的としています。
- 2 実施主体** 鞆ヶ谷校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 鞆ヶ谷市民センター（戸畑区西鞆ヶ谷3-17）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「鞆ヶ谷校区を元気にする講座」
- 7 研修日程・内容**

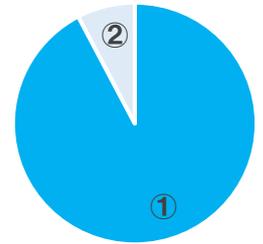
日 程		内 容	講 師 等
一日目 9月 22日 (金)	10:00 ～ 10:05	<b>開 会</b>	鞆ヶ谷校区社会福祉協議会 会長 山口 義隆
	10:05 ～ 10:40	<b>オリエンテーション</b>	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 (戸畑区社会福祉協議会)
	10:05 ～ 10:40	健康づくりセミナー 今話題の「フレイル」を完全克服! ～7つの健康要素から自分のフレイル状態を知ろう～	戸畑リハビリテーション病院 理学療法士 原田 直樹
	10:50 ～ 11:50	家庭で簡単 筋力アップ 「スーパーボールで足裏マッサージ」	フットセラピスト ゲンキクリエーター ケイコ 藤崎 恵子
二日目 10月 13日 (金)	13:30 ～ 14:30	身体を支える基本について 「ポールを使ったウォーキング」	フットセラピスト ゲンキクリエーター ケイコ 藤崎 恵子
	14:35 ～ 15:05	健康づくりセミナー 今話題の「フレイル」を完全克服! ～目指せ！フレイルZEROのまちづくり～	戸畑リハビリテーション病院 理学療法士 原田 直樹
	15:05 ～ 15:25	鞆ヶ谷校区の今後の取り組みについて	鞆ヶ谷校区社会福祉協議会 戸畑区事務所 (戸畑区社会福祉協議会)
	15:25～ 15:30	<b>閉 会</b>	鞆ヶ谷校区社会福祉協議会 会長 山口 義隆

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	38人	19人	36人	—才			2日	4日
	12・26	—%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか と言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	13件	満足 できたか?	12	1	0	0	0
	68.4%		92.3%	7.7%	0%	0%	0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ フレイル予防に理解を深めた。</li> <li>■ 理解しやすい語り口で非常に楽しかった。</li> <li>■ 今日のメンバーはどの行事にも積極的に参加されている人たち。日頃出歩かない人たちに参加してもらいたい。</li> </ul>
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日頃よりウォーキングやグランドゴルフなど、運動を通じた地域活動の盛んな校区である。その活動者の中から、今回の講座を通じて2人の方に福祉協力員として登録して頂いた。</li> <li>■ 講座をきっかけに地域がより活発に活動して頂けるよう、今後も取り組んで参りたい</li> </ul>
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		「一丁目」「健康づくりセミナー」の話題の「フレイル」を完全克服するための健康要素から自分のフレイル状態を知ろう」	
「二丁目」身体を支える基本について「ポールを使ったウォーキング」		「二丁目」「鞘ヶ谷校区の今後の取り組みについて」	

— 令和5年度 —

## 市民講演会 実施要領

# 孤独・孤立防止への取り組み ～こどもの心の声を聴く人になろう！～

- 1 目的** “こども基本法”の基本理念では、全てのこどもが個人として尊重され、その基本的人権の保障や、適切な養育・生活の保障等と共に、年齢及び発達に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関する意見表明の機会や意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮される事等が定められています。
- 「こどもまんなか社会」の実現には、一人ひとりが、こどもの事を考え、取り組んでいく事が必要です。
- こどもへの虐待やこどもの自殺者増加の一方で、助けを必要とするこどもの声が届かない現状も多く見られます。こどものSOSに気づき、心の声を聴き、「その声を届けるしくみ」づくりが必要です。
- 本講演会では、こどもを取り巻く現状と孤独・孤立防止への取り組み、問題を抱え、追い詰められても声を上げられない、聴いてもらえないこどもたちの心の声を聴いて支援し、声を届けるボランティア活動について知ると共に、全てのこどもが尊重され、幸せに生活できる社会の実現に向けた活動への参画の契機を目的として開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとぼた 2階 多目的ホール（北九州市戸畑区汐井町1番6号）
- 4 対象者** ボランティア・市民活動に関心のある方、活動中の方など【定員90名】
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和5年 11月25日（土）13：30～16：15  
詳細裏面参照
- 7 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 研修課  
北九州市社会福祉ボランティア大学校（担当：立野・松田）  
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとぼた 3F  
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

時 間	内 容
13:00～	<b>受 付</b>
13:30～13:35	<b>開会・オリエンテーション</b> 北九州市社会福祉ボランティア大学校
13:35～14:15	<b>講演</b> 「学ぶ、考える、こどもの権利。 ～内容と4つの柱、こどもの頃を振り返って～」 講師 北九州市立大学 名誉教授/ NPO法人 福岡県子どもアドボカシーセンター 理事長 河嶋 静代
14:15～15:05	<b>講演</b> 「こどもたちの現状とアドボカシーのニーズ～アドボケイト（代弁者）という考え方・なぜ、声をあげることは難しいのか～」 講師 北九州市立大学 名誉教授/ NPO法人 福岡県子どもアドボカシーセンター 理事長 河嶋 静代
15:05～15:15	<b>活動紹介</b> 「こどもの心の声を聴き、声を届ける ～子ども意見表明支援員の活動とは～」 講師 北九州市立大学 名誉教授/ NPO法人 福岡県子どもアドボカシーセンター 理事長 河嶋 静代
15:15～15:25	<b>休憩</b>
15:25～16:10	<b>講演</b> 「ヤングケアラーの問題について考える ～理解と気づき、支援について～」 講師 北九州市立大学 基盤教育センター 准教授・スクールソーシャルワーカー 寺田 千栄子
～16:15	<b>閉会</b> 北九州市社会福祉ボランティア大学校

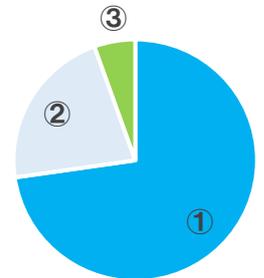
※新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大等、今後の状況によっては本研修会をやむなく延期・中止する場合がございます。その際はご了承ください。

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	72 人	59 人	59 人	— 才		1 日	3 日
	13・46	89.1 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義だ	どちらか 言うと 有意義だ	どちらか も 言えない	あまり参考 にならない	全く参考 にならない
	55 件	満足 できたか?	40	12	3	0	0
	93.2 %		72.7 %	21.8 %	5.5 %	0%	0 %



主な意見	<p>■ 初めて知った、こどもの権利条約、生きる、育つ、意見を表す、差別されず、きちんと休んで遊ぶ権利、等々。こどもだから…親だから…という枠組みの狭い世界にいたなど。今後はこどもの権利があることを意識して、こどもと向き合っていきたいと思いました。</p> <p>■ 誰もがアドボカシーの役割を果たせるというメッセージが伝わりました。</p>
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<p>■ 申し込み時に、一般市民から、こどもの支援に携るボランティア、専門職の方まで幅広く受講されていることがわかったが、受講後のアンケートからは、温度差なく、それぞれ自分がこどもの支援にどう関わっていくかの考察と今後の活動についての積極的な意思表示があり、啓発と活動への誘導ができたと思う。</p>
--------------------	--

■ 研修風景

開会		講演 「学ぶ、考える、こどもの権利。～内容と4つの柱～」こどもの権利を振り返って	
「研修風景」		講演 「アンケートの問題について考える」理解を深め、支援につなげる	

— 令和5年度 第1回 —

# 福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。  
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等  
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30人  
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000円  
上記以外の者 …………… 7,000円  
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** ※裏面の通り
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和5年4月1日(土)～4月28日(金)までに、郵送またはFAXにてお申込ください。  
※受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 研修課  
(北九州市社会福祉ボランティア大学校) (担当：田中、松田)  
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3F  
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

## ①【福祉車両】

- (1) **日程・会場** 令和5年5月20日(土) 9:15~18:25  
クレカ若松 [ボートレース若松内] (若松区赤岩町13-1)
- (2) **受講対象者** 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

### (3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		多目的 ホール
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ (永田 淳)	
12:00~12:50	休憩			
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接遇技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ (派遣講師)	第4駐車 場
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		多目的 ホール

## ②【セダン型】

- (1) **日程・会場** 令和5年5月27日(土) 9:15~11:45  
ウエルとばた 12H・I 研修室 (戸畑区汐井町1-6)  
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) **受講対象者** ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているが、ヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方。

### (3) 研修内容

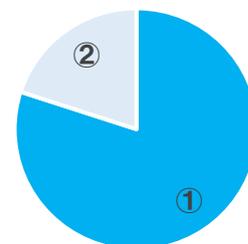
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の 対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の 対応		1階 駐車場
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	24人 14・10	22人 91.7%	22人	49.3才		1日	9時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかという 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	22件 100%	満足 できたか?	16 72.7%	4 18.2%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者の方々に安全・安心を与える為に、慎重に運転することが大事だと思った。</li> <li>■ 実際に車イスの乗せ方や乗り心地を経験し、今後活かせると思いました。</li> <li>■ 知らない事ばかりでとても勉強になりました。利用者の方の目線を知れて良かったです。どう介助してもらえると助かるのか…など考えたこともなかったので。</li> </ul>
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今回聴覚に障害のある方が受講されたため、障害の特性に合わせた配慮と、受講者が研修を受けやすいよう環境整備を行った。講義中はUD トークを見てもらいながら、隣席の職員がテキストの指差しを行ったり、質疑や伝達時にはミニホワイトボードを使用した。</li> <li>■ 今回の経験を今後の研修にも活かしていきたい。</li> </ul>
--------------------	--

■ 研修風景

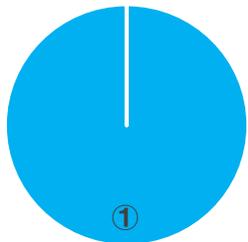
関係法令等 貞包 健一 氏		障害の知識及び利用者理解	
福祉自動車運転方法(演習)		修了証書授与	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	7人	6人	6人	55.8才			1日	2.5時間
	4・3	85.7%						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回数)		満足できた	どちらかという満足できた	どちらともいえない	あまり満足できなかった	不満だった
	6件 100.0%		5 83.3%	0 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ なんとなく知っている思い込みを、なるほどと学び直すことができた。
	■ 車イスの特性を知ること、利用者さんの不安を軽減出来ること、介助のしやすさが増す事を知る事ができて勉強になりました。人によって有効な事、邪魔な事を知れました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ シルバーひまわりの登録者5名と福祉有償運送実施団体から1名が受講した。
	■ 前週の福祉車両研修後に運転ボランティアとして活動を始める事になった方から、利用者に乗せる際の注意点や、普段と違う状況に遭遇した時の対処法等の質問が出た。今後も活動に役立つ研修として受講して頂きたい。

■ 研修風景

講義		実技①	
実技②		修了証書授与	

— 令和5年度 第2回 —

# 福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。  
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等  
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30人  
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000円  
上記以外の者 …… 7,000円  
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** ※裏面の通り
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和5年9月1日(金)～9月28日(木)までに、郵送またはFAXにてお申込ください。  
※受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 研修課  
(北九州市社会福祉ボランティア大学校) (担当：田中、松田)  
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3F  
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

## ①【福祉車両】

- (1) **日程・会場** 令和5年10月14日(土) 9:15~18:25  
北九州市立玄海青年の家(若松区大字竹並126-2)
- (2) **受講対象者** 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

### (3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第1 研修室
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ(永田 淳)	
12:00~12:50	休憩			
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接遇技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ(派遣講師)	グラウンド
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		第1 研修室

## ②【セダン型】

- (1) **日程・会場** 令和5年10月21日(土) 9:15~11:45  
ウエルとばた12H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)  
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) **受講対象者** ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているが、ヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方。

### (3) 研修内容

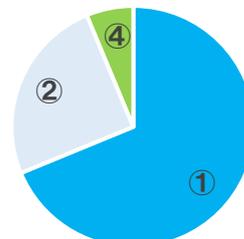
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	22 人	22 人	22 人	42.9 才		1 日	9 時間
	11・11	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	21 件		11	4	0	1	0
	95.5%		52.4%	19.0%	0%	4.8%	0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 科目に応じて実技をふまえた大変充実した講義内容だった。運転研修に限らず高齢者施設に携わる者として、又、今後の為に変な勉強になった。</li> <li>■ 実際に介助してもらった側や杖を使ってみたりの体験で、介助される側はどういう思いをするかや、コミュニケーションの大切さ、どこをどう介助したらその方にとって良いのかを考える大事さを改めて学ばせて頂きました。</li> </ul>

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新たに福祉有償運送実施団体として登録を予定している2団体から受講があった。</li> <li>■ 翌日から早速運転ボランティアとして活動される方々がいた。障害者接客技術の実技はすぐに使えると特に好評だった。</li> <li>■ 今回は若い世代の受講者が多かった。今後の活動に期待したい。</li> </ul>

■ 研修風景

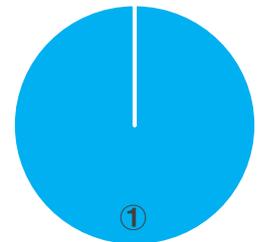
関係法令等 貞包健一氏		障害の知識及び利用者理解	
福祉自動車運転方法(演習)		修了証書授与	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	3人 0・3	3人 100%	3人	49.7才		1日	2.5時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかという 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満足だった
	3件 100.0%		2 66.7%	0 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者さんの立ち位置からの話なので、とてもためになる。</li> <li>■ 介護者、車イス、そして利用者をもその場で判断し（事前情報があるにしろ）工夫し対応できる臨機応変力が必要だと、とても勉強になった。判断視点がたくさん必要</li> <li>■ 経験を積まないと判断という引き出しが増えないので、積極的にこの研修を活かし、活動に参加できればと思っています。</li> </ul>
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ シルバーひまわりの登録者3名が受講した。受講者が少なかった分、特に実技は細かく指導して頂き、受講者からも活発に質問が出ていた。</li> <li>■ 高齢者・障害のある方の危険動作への対応や、利用者について現場で対応を判断する即応性など、今後も即実践に繋がるような講座となるよう努めたい。</li> </ul>
--------------------	--

■ 研修風景

講義		実技①	
実技②		修了証書授与	

— 令和5年度 第3回 —

# 福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。  
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等  
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30人  
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000円  
上記以外の者 …………… 7,000円  
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** ※裏面の通り
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和6年1月4日(木)～1月30日(木)までに、郵送またはFAXにてお申込ください。  
※受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 研修課  
(北九州市社会福祉ボランティア大学校) (担当：田中、松田)  
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3F  
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

## ①【福祉車両】

- (1) **日程・会場** 令和6年2月17日(土) 9:15~18:25  
 クレカ若松[ボートレース若松内] (若松区赤岩町13-1)
- (2) **受講対象者** 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

### (3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		2F 市民 ホール
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法		
12:00~12:50	休憩			
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接遇技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ (派遣講師)	第4 駐車場
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		市民 ホール

## ②【セダン型】

- (1) **日程・会場** 令和6年2月24日(土) 9:15~11:45  
 ウェルとばた12H・I研修室 (戸畑区汐井町1-6)  
 ※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) **受講対象者** ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているが、ヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方。

### (3) 研修内容

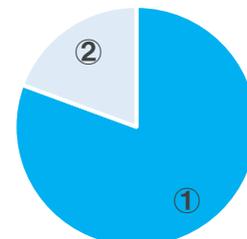
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	35 人 19・16	33 人 94.3%	33 人	50.9 才			1 日	9 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
			25 75.8%	6 18.2%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 緊急時の対応を再確認できた事が良かった。また、安全・安心な運転が信頼関係を築いていけるという事が確認できた。
	■ 色んな体験ができて良かった。「見えない」事の怖さや杖を持つての移動では、介助の仕方を学べたので良かったです。
	■ 利用者を乗せて運転する事に対する心構えが学べて良かった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新たに福祉有償運送実施団体として登録を予定している1団体から受講があった。
	■ 実技の講義は「勉強になった」との声が多く大変好評だった。
	■ コロナ後としては最多の申込み数だった。研修が運転ボランティアの活動推進につながる事に期待したい。

■ 研修風景

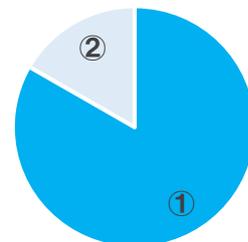
関係法令等に関する講義		障害の知識及び利用者理解に関する講義	
福祉自動車運転方法(演習)		修了証書授与	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	7人	6人	6人	51.5才			1日	2.5時間
	4・3	85.7%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかという満足できた	どちらともいえない	あまり満足できなかった	不満だった
	5件		5	1	0	0	0
	83.3%		83.3%	16.7%	%	%	%



主な意見	■ 具体的な例えでの説明がわかりやすかった。
	■ 研修者に実際にしてもらおうということが多かったため、非常に有意義だ。
	■ 介助型と普通型車椅子を見比べての研修を受けてみたかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 市内福祉有償運送団体から5名、市社協シルバーひまわりサービス登録者1名が受講した。
	■ 乗降介助等の実技を取り入れた講義と言うこともあり参加者に好評である。今後も活動者のスキル向上につながる研修となるよう努めたい。

■ 研修風景

利用者理解及び乗降介助等の対応講義①		利用者理解及び乗降介助等の対応実技①	
利用者理解及び乗降介助等の対応実技②		利用者理解及び乗降介助等の対応実技③	

— 令和5年度 —

～障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座 実施要領～

# 知的・発達障害のある人への ボランティア入門講座

- 1 目的** 本講座では、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指して、障害のある方の心に寄り添い、支援について学ぶとともに、ボランティア活動に関心のある方を活動の窓口へつなげます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 12階121・122会議室（戸畑区汐井町1-6）  
（変更後会場）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 知的・発達障害のある方へのボランティア活動に関心がある方（定員30名）  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700円（研修当日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容** 令和5年9月2日（土）

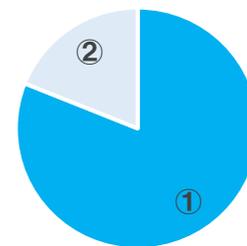
日時		内容	講師等
9月2日 (土)	9:30～	受付	
	10:00～	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	10:05～ 10:50	体験してみよう！ 言葉がわからない 伝わらないってどういうこと？ どうしてうまくできないの？	北九州市手をつなぐ育成会(親の会) 啓発キャラバン ちゃちゃ隊
	10:50～ 11:00	休憩	
	11:00～ 11:30	発達障害について『寸劇 あやめ園』	北九州市手をつなぐ育成会(親の会) 啓発キャラバン ちゃちゃ隊
	11:30～ 11:50	ボランティア活動のルールとマナー	北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事 宮崎 浩
	～12:00	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)						
	49人	41人	41人	—才			1日	2週
	13・36	83.7%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言え満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	38件	満足できたか?	30	7	0	0	0
	92.7%		78.9%	18.4%	0%	0%	0%



主な意見	■ 障害を持つ方の困ったことに対する理解がよりできた。体験の内容が良く工夫されていると思った。
	■ あいまいな表現ではなく、具体的な言葉で伝えることが大切。
	■ 伝える事が難しい事がわかった。絵を描く事や体験することで非常に分りやすかった
	■ ボランティアに対する心構えがわかりました。少しずつ始めていけたらと思えました

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今年は知的・発達障害をテーマとし、障害分野のボランティアに関心のある参加者を多く集められた。
	■ 疑似体験と寸劇とで分かりやすく構成した。参加者が発達障害のある方の生活上の困難さを理解して障害のある方の気持ちを理解し、接し方を学ぶ生きた講座となった。
	■ 障害のある方が学ぶ講座でのボランティア活動へ受講者から5人をつなぐ成果ができた。

■ 研修風景

開会挨拶		「発達障害について『寸劇あゆめ団』」	
「体験してみよう！言葉がわからない・伝わらないうちのコミュニケーション」		「ボランティア活動のルールとマナー」	

— 令和5年度 —

# 「災害ボランティア」養成講座(門司区) 実施要領

- 1 目的** 近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。  
本講座では、過去の災害を振り返り、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えなど、災害時の基礎知識を学ぶとともに、さまざまな災害ボランティア活動を紹介しながら、地域の中で協力し、支え合う活動につなげることを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** 旧大連航路上屋 2階 ホール  
(門司区西海岸1-3-5 TEL.322-5020)
- 4 対象者** 門司区にお住まいの方や災害ボランティアに関心のある方  
【定員30名】(申込み多数の場合は、抽選させていただく場合があります)
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和5年9月12日(火)

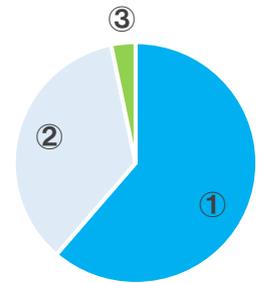
時間	内容	講師等
13:00~	受付	
13:30~	開会	門司区社会福祉協議会 事務所長 上田 善浩
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:35~ 14:15	知って安心、災害への備え (門司区版)	門司区役所 総務企画課 地域防災担当係長 柴崎 洋明
14:15~ 14:35	災害ボランティア活動の基礎知識	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課長 茅切 敦美
~14:45	休憩	
14:45~ 15:45	災害時に求められる役割と心構え	公立大学法人 北九州市立大学 地域創生学群 准教授 村江 史年
~15:50	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	34 人	33 人	33 人	— 才		1 日	2 時間
	19・15	97.1 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか いうと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	31 件		19	11	1	0	0
	93.9 %		61.3 %	35.5 %	3.2 %	0 %	0 %



主な意見	■ 1度で終わらず、定期的に災害の話を意識したり、考えたりすることを行っていただきたいと思います。もっと一つ一つを深く知りたいと感じました。
	■ 改めて災害と向き合う事の大事さ。用意する事の必要性を感じました。
	■ 「災害時に求められる役割と心構え」の講座は具体的な事例で講義され、大変わかりやすかった。大変勉強になりました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 門司区の福祉協力員、民生委員、送迎ボランティア登録者、災害ボランティア登録者等、地域の中心となっている方々が幅広く受講され今回の研修で新規の災害ボランティア2名の登録に至った。
	■ 災害ボランティアセンターの主な役割、最近の災害ボランティア活動と災害時に求められる役割と心構えの具体的な講話により、受講者の活動意欲を高める研修となった。

■ 研修風景

開会挨拶		「知って安心、災害への備え」	
「災害ボランティア活動の基礎知識」		「災害時に求められる役割と心構え」	

— 令和5年度 —

# 「災害ボランティア」養成講座(小倉北区) 実施要領

- 1 目的** 近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。  
本講座では、過去の災害を振り返り、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えなど、災害時の基礎知識を学ぶとともに、さまざまな災害ボランティア活動を紹介しながら、地域の中で協力し、支え合う活動につなげることを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** 北九州市立男女共同参画センター ムーブ 5階  
大セミナールーム (小倉北区大手町11-4)
- 4 対象者** 災害ボランティアに関心のある方  
【定員30名】(申込み多数の場合は、抽選させていただく場合があります)
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和5年9月21日(木)

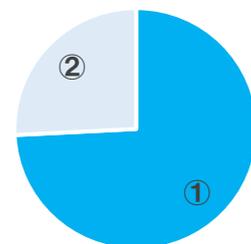
時間	内容	講師等
13:00~	受付	
13:30~	開会	小倉北区社会福祉協議会 事務所長 島田 直樹
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:35~ 14:15	知って安心、災害への備え (小倉北区版)	小倉北区役所 総務企画課 地域防災担当係長 浅野 雅久
14:15~ 14:35	災害ボランティア活動の基礎知識	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課主事 中村 優希
~14:45	休憩	
14:45~ 15:45	災害時に求められる役割と心構え	公立大学法人 北九州市立大学 地域創生学群 准教授 村江 史年
~15:50	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	38人	33人	33人	—才		延1日	延2週
	13・25	86.8%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	31件 93.9%	満足 できたか?	23 74.2%	8 25.8%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	意見内容
	■ 災害についての知識を深めることができ、今日一日伺ったかった災害ボランティアの心構えを知ることができ、ありがとうございました。
	■ 自然災害がいつどこで起きるか？日頃から知識を持って対応していける知識を持つ事です。良かったです。
	■ 災害ボランティア登録をします。少しずつ自分のできることから始めたいと思います

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	点検内容
	■ 小倉北区の福祉協力員、民生委員を中心に送迎ボランティア登録者、災害ボランティア登録者等、北九州市内の方が幅広く受講され、新規の災害ボランティア1名の登録の成果があった。
	■ 災害ボランティアセンターの主な役割、最近の災害ボランティア活動等、具体的な講話により、受講者の活動意欲を高める研修となった。
	■ 若い世代の参加者が増やせるよう日程調整を区事務所と協議して考えたい。

■ 研修風景

開会挨拶		「知って安心、災害への備え」	
「災害ボランティア活動の基礎知識」		「災害時に求められる役割と心構え」	

-令和5年度-

# ボランティアグループ運営研修実施要領

## ～集まろう・つながろう・学び合おう！

### はじめの一步はつながりから～

- 1 趣 旨** ボランティア・NPO等の活動を始めたばかりの団体から活動中の団体まで広く集まり、リーダー等がグループの運営手法や活動事例を学び合い、団体同士の交流を通じて相互のつながりを促進し、ボランティア・市民活動の増進とスキルアップを図る研修です。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** ボランティア・NPO等で活動されている方【定員 30 名】  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700 円（研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日時・内容** 令和5年11月11日（土）9:30～12:10

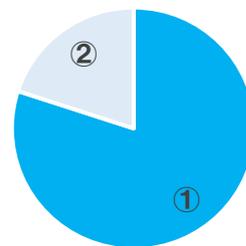
時間	内 容	講師等
9:00 ～	受 付	
9:30 ～ 9:35	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
9:35 ～ 11:35	まずは知り合おう、～私の所属するグループ・団体紹介～	NPO 法人好きっちゃ北九州 理事長 入門 真生
	私たちの団体の運営ノウハウについて ～運営・事業企画・活動費等 いろいろ～	
	よもやま座談会～悩みは何？運営は上手くいっている？いろいろな団体が集まって、知恵を出しあい学び合おう～	
11:35 ～ 11:45	休憩	
11:45 ～ 12:05	北九州市市民活動サポートセンターの紹介とボランティア・NPOのQ&A	北九州市 市民文化スポーツ局地域・人づくり部 市民活動推進課 主査 森 一朗
～ 12:10	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	20 人	17 人	17 人	65.1 才		延 1 日	延 2.5 日
	7・13	85 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか と言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	17 件 100 %	満足 できたか?	12 70.6 %	3 17.6 %	0 0%	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 各ボランティアグループの意見交換ができて大変良かった。
	■ 色々な団体さんとの情報共有が出来て学ぶ事が多かった。
	■ ボランティアの高齢化、場所作りなど課題を知った。
	■ 色々な活動をしている人がいることがわかった。課題を共有することは大切だと思った。横のつながりができていくと良いと思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 全員参加型の配席にしたことにより、様々な団体、グループの意見交換、情報共有ができ、活動の取り組み方や北九州市にNPO団体等のプラットフォームがなく、団体間の連携の機会がない等の課題に気づけた有意義な研修となった。
	■ 共通の課題でもあるボランティアの高齢化、場所作りなどの糸口を見つけられるような研修を今後も開催していきたい。

■ 研修風景

開会挨拶		「まずは知り合おう、私の所属するグループ・団体紹介」	
「北九州市市民活動サポートセンターの紹介とボランティア・NPOのQ&A」		閉会挨拶	

— 令和5年度 —

# 現任福祉協力員研修 実施要領

**1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。

昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。

今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。

**2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市

**3 対象者** 門司区内の福祉協力員等 50人

**4 会場** 門司区役所 3階 大会議室（門司区清滝1-1-1）

**5 受講料** 無料

**6 日程・内容** 令和5年11月14日（火）

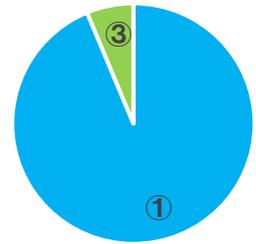
時間	内容	講師等
9:30~	受付	
10:00~	開会	北九州市社会福祉協議会 門司区事務所 (門司区社会福祉協議会) 会長 小田 穂積
10:05~ 11:50	講話及びグループワーク 「連絡調整会議で話し合いをすすめるために ~スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気 や発言しやすい場づくりのコツ」	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
11:50~ 12:00	まとめ・閉会	北九州市社会福祉協議会 門司区事務所 (門司区社会福祉協議会) 事務所長 上田 善浩

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	17 人	18 人	18 人	— 才			1 日	2 時間
	3・14	105.9%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	16 件 88.9%	満足 できたか?	15 93.8%	0 0%	1 6.2%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 他地区で福祉協力員の連絡調整会議があつていること自体初めて知つたので、これからは他地区に追いつくよう頑張りたい。
	■ 校区により連絡調整会議のやりかたも違つて、いろいろあると思ひました。参加できてよかつたです。
	■ 和やかな話し合いに必要な「心理的安全性」の考え方がとても勉強になりました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 他校区の活動者ばかりになるよう配席して、グループ分けして話し合うことで、情報交換や意見交換も活発になり、他校区の会議や活動、課題について知ることができ、満足いただけた。今後、話し合いのコツとともに自校区での活動に役立てていただければと思う。
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		講話及びグループワーク「連絡調整会議で話し合いをすすめるために」スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくりのコツ	
	講話及びグループワーク「連絡調整会議で話し合いをすすめるために」スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくり		閉会挨拶

— 令和5年度 —

# 現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 対象者** 小倉北区内の福祉協力員等 50人
- 4 会場** 北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」5階大セミナールーム  
(小倉北区大手町11番4号)
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 令和5年9月22日(金)

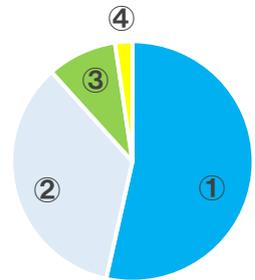
時間	内容	講師等
13:00～	受付	
13:30～	開会	小倉北区社会福祉協議会 事務所長 島田 直樹
13:35～ 15:20	講話及びグループワーク 「連絡調整会議で話し合いをすすめるために～スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくりのコツ」	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
15:20～ 15:30	まとめ・閉会	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 担当部長 杉本 真奈美

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	56 人	52 人	52 人	— 才			1 日	2 時間
	16・40	92.9 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	46 件 88.5 %	満足 できたか?	23 50%	15 32.6%	4 8.7%	1 2.2%	0 0 %



主な意見	■ 他校区の状況、活動状態を知ることができ、有意義だった。どの地区も同じ問題を抱えていると思う。
	■ いろいろな地区でそれぞれの悩み事があるのを知ることができました。町内会の加入、福祉協力員の必要性を大きく感じました。
	■ 福祉協力員としての自覚をしなくてはと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今年度は、グループワークで話し合いのすすめ方を企画し、コロナ明けの対面会議再開の時期にタイムリーな機会提供ができた。
	■ 中島先生の講義は、ユーモアがあり参加者からも楽しい研修との感想が多く皆が色々な地区の方と活発な意見交換ができ、満足度が高い研修だった。

■ 研修風景

開会挨拶		講話「連絡調整会議で話し合いをすすめるためにスムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくりのコツ」	
			閉会挨拶

— 令和5年度 —

# 現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 対象者** 小倉南区内の福祉協力員等 50人
- 4 会場** 小倉南生涯学習センター 3階 視聴覚室  
(小倉南区若園五丁目1-5)
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和5年12月2日(土)

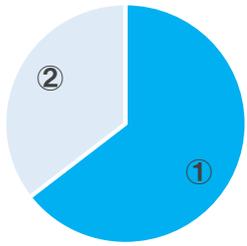
時間	内容	講師等
9:30~	受付	
10:00~	開会	小倉南区社会福祉協議会 会長 築別 邦博
10:05~ 11:50	講話及びグループワーク 「連絡調整会議で話し合いをすすめるために ~スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気 や発言しやすい場づくりのコツ」	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
11:50~ 11:55	まとめ・閉会	小倉南区社会福祉協議会 事務所長 米原 徹二

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	35 人	32 人	32 人	— 才			1 日	2 時間
	6・26	91.4 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	31 件	満足 できたか?	20	11	0	0	0
	96.9 %		64.5 %	35.5 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	<p>■ 地域によって活動内容に違いがあり、もっと地域の方に喜ばれる活動が、できればと思う反面、私がどこまでできるのかとの疑問もあります。</p> <p>■ 福祉協力員になってまだ日が浅く、手探り状態です。グループの方はベテランの方ばかりだったので、今回お話を聞くことは、とても有意義なことであったと思いました。グループワークでは色々な問題点、悩みを聞けました。</p>
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<p>■ 令和4年度まで、コロナの影響で、福祉協力員の見守りや訪問活動も、対面での会話が減り、メモや電話が主流であったり、地域福祉活動者が集まる連絡調整会議の開催も減り、話し合う機会も減っていた。それを受け、グループワーク中心に研修を組み立てたところ、非常に好評で、参加者の士気向上につながった。</p>
--------------------	--

■ 研修風景

開 会		開 会 挨拶	
講話及びグループワーク「連絡調整会議で話し合いをすすめるために」スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくり		講話及びグループワーク「連絡調整会議で話し合いをすすめるために」スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくり	

— 令和5年度 —

# 現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 対象者** 若松区内の福祉協力員等 50人
- 4 会場** 北九州市立若松市民会館 小ホール  
(若松区本町3丁目13-1)
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 令和5年12月12日(火)

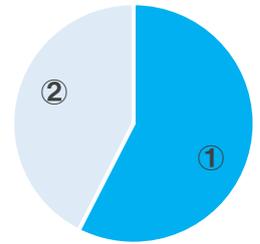
時間	内容	講師等
13:00~	受付	
13:30~	開会	若松区社会福祉協議会 事務所長 山本 隆司
13:35~ 15:20	講話及びグループワーク 「連絡調整会議で話し合いをすすめるために～スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくりのコツ」	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
15:20~ 15:30	まとめ・閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	54 人	49 人	49 人	— 才			1 日	2 時間
	11・43	92.9 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	43 件 87.8 %		23 53.5%	17 39.5%	0 0%	0 %	0 0 %



主な意見	■ 楽しく話し合いができ、福祉協力員とは何か、改めて考えることができた。地域での後継者選びの参考にできればと思った。
	■ 他地区との交流ができ、悩み事はそんなに変わらない事、話し合いの場の進め方など、学ばさせて頂きました。
	■ グループ討議での情報交換が有意義であった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今年度は、グループワークで話し合いのすすめ方を企画し、コロナ明けの対面会議再開の時期にタイムリーな機会提供ができた。
	■ 講義は、ユーモアもあり、参加者が発言しやすく、色々な地区の方と活発な意見交換ができ今後の活動意欲向上に繋がった。

■ 研修風景

開会挨拶		講話「連絡調整会議で話し合いをすすめるためにスムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくりのコツ」	
	講話「連絡調整会議で話し合いをすすめるためにスムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくりのコツ」	グループ別発表	

— 令和5年度 —

# 現任福祉協力員研修 実施要領

**1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。

昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。

今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。

**2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市

**3 対象者** 八幡東区内の福祉協力員・ふれあい通信員等 (定員50名)

**4 会場** 八幡東区社会福祉センター 3F 研修室 (八幡東区西丸山町2-1)

**5 受講料** 無料

**6 日程・内容** 令和5年10月24日(火)

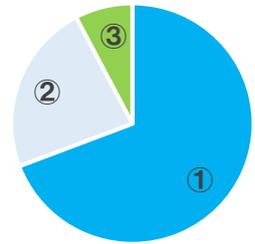
時間	内容	講師等
13:00~	受付	
13:30~	開会	八幡東区社会福祉協議会 会長 半田 康行
13:35~ 15:20	講話及びグループワーク 「連絡調整会議で話し合いをすすめるために ～スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気 や発言しやすい場づくりのコツ」	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
15:20~ 15:30	まとめ・閉会	八幡東区社会福祉協議会 事務所長 近藤 広一

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	19 人	27 人	27 人	— 才			1 日	2 時間
	12・7	142.1 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	26 件	満足 できたか?	18	6	2	0	0
	96.3 %		69.2 %	23.1 %	7.7 %	0 %	0 %



主な意見	■ いろいろな意見を伺って、視野の広がりを感じ、非常に参考になることが多かったです。他の方の意見を聴くことが有意義で、今後に生かしていきたいと思ひます。今後もまた参加したいと思ひます。
	■ 皆で意見を出し合う形式がよかった。これまでの聞く研修から話す研修は良い企画だと思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 普段接触をする機会のない他校区の方と意見交換をし、自分の地域が持つ課題、共有し、よい解決策の提案が出るところもあれば、後継者、活動者不足などのように複数の校区で同じ課題を抱えている現状を知ること、自分の地域だけでなく、どの校区も同じ悩みを持っていると連帯意識が生まれる効果があった。
--------------------	---

■ 研修風景

開会		講話及びグループワーク「連絡調整会議で話し合いをすすめるために」スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくり	
			閉会挨拶

— 令和5年度 —

# 現任福祉協力員研修 実施要領

**1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。

昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。

今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。

**2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市

**3 対象者** 八幡西区内の福祉協力員等 50人

**4 会場** 八幡西生涯学習総合センター 大会議室  
(八幡西区黒崎3丁目15番3号 コムシティ3階)

**5 受講料** 無料

**6 日程・内容** 令和5年10月31日(火)

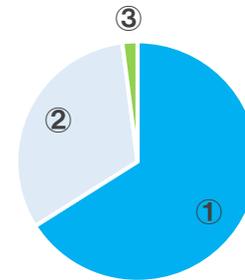
時間	内容	講師等
13:00~	受付	
13:30~	開会	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所 (八幡西区社会福祉協議会) 会長 北島 粹
13:35~ 15:20	講話及びグループワーク 「連絡調整会議で話し合いをすすめるために～スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくりのコツ」	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
15:20~ 15:30	まとめ・閉会	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所 (八幡西区社会福祉協議会) 事務所長 南里 佳代子

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	63 人	54 人	54 人	— 才			1 日	2 時間
	11・52	85.7 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	どちらかと言 うと不満だった	不満だった
	52	満足 できたか?	33	16	1	0	0
	96.3 %		63.5 %	30.8 %	1.9 %	0 %	0 %



主な意見	■ 初めて参加しましたが、わかっている事でも改めて聞くと、色々わかって大変ためになりました。
	■ 先生のユーモアいっぱいのお話、楽しかったです。各班の発表、とても参考になりました。大変な時の気持ちが少し和らぎました。
	■ 学ぶべき事がたくさんあり、今後の活動の参考にして参りたいと思います。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ コロナ後、参加者にとって久しぶりのグループワークだった為、活発に意見交換ができた。その中で日頃の活動等の悩みを共有することができ、有意義な研修となった。皆が試行錯誤して活動されている様子を共有したうえで、研修が今後もいきいきと地域で活動して頂けるような学びの場となるよう実施していきたい。
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		講話「連絡調整会議で話し合いをすすめるためにスムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくりのコツ」	
グループワーク			グループ別発表

— 令和5年度 —

# 現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 対象者** 戸畑区内の福祉協力員等 30人
- 4 会場** 戸畑区役所 大会議室（戸畑区千防1-1-1 3階）
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和5年11月28日（火）

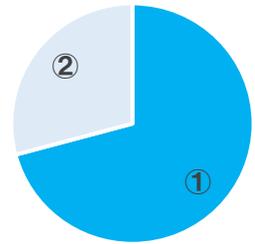
時間	内容	講師等
9:30~	受付	
10:00~	開会	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 (戸畑区社会福祉協議会) 会長 中山 照美
10:05~ 11:50	講話及びグループワーク 「連絡調整会議で話し合いをすすめるために～スムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくりのコツ」	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
11:50~ 12:00	まとめ・閉会	北九州市社会福祉協議会 戸畑区社会福祉協議会 事務所長 上村 繁徳

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	27 人	27 人	27 人	— 才			1 日	2 時間
	7・20	100%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	24 件 88.9%	満足 できたか?	17 70.8%	7 29.2%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 話をする事の大切さをとても感じました。人の意見を聞く心を持つ。笑顔とありがとうを忘れないように心掛けたいと思います。
	■ 他の地域の情報を多く聞くことができ、とても楽しく会話をすることができた。グループワークの楽しさを体感する事ができた。
	■ 皆様の意見を聞いてありがたかったです。参加できた事に感謝します。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ コロナ以降久しぶりのグループワークで他地区と交流し、情報交換や学び合いができた事が好評だった。
	■ 福祉協力員2年目の方から、「自分が何をしたら良いか今日まで手探りだったが、先輩方と意見交換できた事によって今後の活動に希望が持てた。」との感想等があり、参加者にとって充実した研修になった。

■ 研修風景

開会挨拶		講話「連絡調整会議で話し合いをすすめるためにスムーズな話し合いのコツと和やかな雰囲気や発言しやすい場づくりのコツ」	
グループワーク		開会挨拶	

## 令和5年度 地域福祉活動専門研修 実施要領

# 福祉の心を育もう

～ 福祉の心が根づくまちづくりに向けて ～

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、小地域における福祉活動の要である校(地)区社協が中心となり、地域の福祉活動に取り組んでいます。  
多くの校(地)区社協においては、「共に生きる力」を育むことを目的とした福祉教育が、様々な形で実践されています。  
本研修では、福祉教育の意義を学ぶとともに、子どもを主役とした福祉教育(ウェルクラブ)の事例を紹介し、楽しく、未来につながる実践方法について考えます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた3階中ホール(戸畑区汐井町1-6)
- 4 対象者** 校(地)区社会福祉協議会の役員、福祉協力員、民生委員・児童委員など  
【定員80名】
- ※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和5年12月 1日(金)

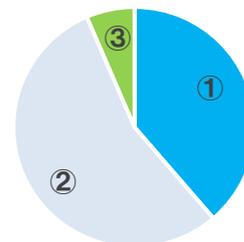
時間	プログラム	講師等
13:30 ～13:40	北九州市社会福祉協議会 オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 北九州市社会福祉協議会
13:40 ～14:50	次世代の地域福祉を担う子どもたちの「福祉の心」を育む活動事例に学ぶ ～事例発表～	コーディネーター 北九州市立大学 地域創生学群 特任教員 末永 和也
	◆発表① 「優しさあふれるあたたかいまちづくり」 ～学校授業の一環としてのウェルクラブ活動～	若松区 小石赤崎校区社会福祉協議会 会長 柿内 よし子 前会長 吉田 正彦
	◆発表② 「地域の特性を活かしたウェルクラブ活動 ～地域全体で育む思いやりの心～」	八幡東区 高槻地区社会福祉協議会 副会長 吉田 昭彦
～15:00	休憩	
15:00 ～15:50	講義 「福祉教育を通じて思いやりの心や共に生きる力を育んでいく」	北九州市立大学 地域創生学群 特任教員 末永 和也
～16:00	閉講	北九州市ボランティア大学校

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	78 人	81 人	81 人	— 才		1 日	2.5 日
	33・45	103.8 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回	研修全体 について	① 全くその通り	② どちらか いと その通り	③ どちらとも いえない	④ どちらか言っ てもいい	⑤ 全くその通り
	62 件	満足 できたか?	24	34	4	0	0
	76.5 %		38.7 %	54.8 %	6.5 %	0 %	0 %



主な意見	<p>■ 中身の濃い内容でした。今後の活動に生かしたい内容が数多くありました。どの地域も高齢化が進み、大変な思いをしつつ活動をしている。数年先を見た中で、小学生、中学生をいかに活動に組み込むかが大切だと思います。</p> <p>■ ウェルクラブについて他地区の活動を知ることができたことは、とても良かった。子どもたちの福祉活動（ボランティア）をこれから自分の地域の人たちと考えていきたい。また、自分のボランティア活動についても考える機会になりました。</p>
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<p>■ 事例発表の2校（地）区は、いずれもウェルクラブ活動について先進地区であり、小学校との連携や、地域団体が一体となり、地域行事にウェルクラブの活躍の場を組み込み地域活動を活性化する取り組みの事例発表に参加者の関心は高かった。</p> <p>■ これから取り組もうとする校（地）区にとりノウハウを提示できたと思う。</p>
--------------------	---

■ 研修風景

開会の挨拶		パネルディスカッション	
講義「福祉教育を通じて思いやりの心や共に生きる力を育てていく」		閉会挨拶	

## 令和5年度 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」実施要領

# 小地域福祉活動における個人情報取り扱いについて ～個人情報をうまく使って地域のつながりを深めよう～

- 1 目的** 個人情報は、上手に使えば顔の見える関係づくりに役立ちます。個人情報の保護は必要ですが、過度の対応は、地域のつながりを弱くし、地域の活動や災害時の助け合いなどに支障をきたします。したがって、個人情報は、適正な取得・管理を行うとともに、いざというときには有効に活用することが必要です。  
本セミナーは、小地域福祉活動のリーダーを担う方が個人情報取り扱いの重要性を認識し、適正に取得・管理することで地域とのつながりを深めていくことを目的としています。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた3階大ホール（戸畑区汐井町1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 校(地)区社協 正・副会長、小地域福祉活動においてリーダー的役割を担う方
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和6年3月7日（木）

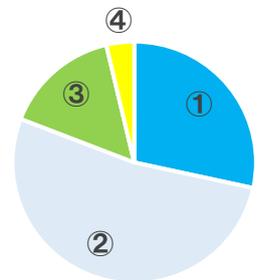
時間	内容	講師等
13:30 ～	受付	
14:00 ～ 14:10	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
14:10 ～ 15:55	講義 小地域福祉活動における 個人情報取扱いについ て ～「個人情報」をうまく使って 地域のつながりを深めよう～ (途中休憩 10分、質疑応答 15分を含む)	弁護士 河原 一雅
15:55 ～ 16:00	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)						延
	221 人	201 人	— 人	— 才		1 日	2 時間
	118・103	91.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義だ	どちらか と 言うと 有意義だ	どちら とも 言 え ない	あまり 参 考 に な ら ない	全く 参 考 に な ら ない
	164 件 81.6 %	満足 できたか?	46 28.1 %	85 51.8 %	25 15.2 %	6 3.7 %	0 0 %



主な意見	■ 個人情報が必要な事もあるが、どう集めたら良いか、どう管理したら良いかなど難しいと思っていたので、話が聞けて良かったです。
	■ セミナーの内容が活動者に共有され、一人一人が気を付けるようになれば、活動のあり方が少し変わってくると思う。
	■ 名簿を作成する立場として心構えができる。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 個人情報を収集・管理する立場の方々なので興味深い内容であり、申込数は近年で一番多かった。
	■ 個人情報の取り扱いについて具体例を挙げて説明され、地域活動での個人情報収集・管理等についても参考になる講義だった。
	■ 参加者より、配布資料や会場投影用の字が小さいとの意見があったので、今後は講師と事前に確認して支障のないよう努めたい。

■ 研修風景

開催挨拶		「小地域福祉活動における個人情報取り扱いについて」『個人情報』をつまみく使って地域のつながりを深めよう	
講義の様子			閉会挨拶

— 令和5年度 —

# 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 実施要領

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」のために、校(地)区社会福祉協議会が中心となり、地域住民主体の小地域福祉活動を展開しています。  
今回の研修では、新しく校(地)区社会福祉協議会の役員に就任された方々に、社協活動の基本を確認していただくとともに、リーダーとして校(地)区社会福祉協議会をどのように運営していくのか、市・区社会福祉協議会と一緒に考えていきます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた3階中ホール（戸畑区汐井町1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 新たに校(地)区社会福祉協議会役員に就任された方 【定員80名】  
（新任の会長・副会長・ふれあいネットワーク部会長等）
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和5年6月28日（水）

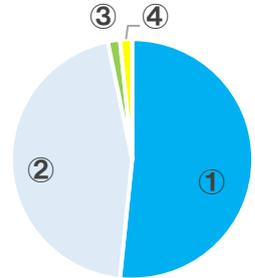
時間	内 容	講 師 等
13:00~	受付	
13:30 ~13:40	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 常務理事 田中直子
13:40 ~14:00	講 義 「小地域福祉活動の意義と 校(地)区社協運営について」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部 長 平野謙太
14:00 ~14:45	事例紹介 事例で学ぶ「校(地)区社協の運営」	コーディネーター 九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村秀一
	事例Ⅰ 「新任会長の2年間 小地域福祉活動計画推進に至るま で」	小倉南区長尾校区社会福祉協議会 会 長 井下一
	事例Ⅱ 「持続可能な地域福祉活動を目指して」	八幡西区折尾西校区社会福祉協議会 会 長 渡辺保 事務局次長 足田義和
~14:55	休 憩	
14:55 ~16:15	講 義 「地域の関係団体との連携・協働」	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村秀一
~16:20	閉 会	北九州市社会福祉ボランティア大学校 校 長 久塚純一

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	86 人	92 人	92 人	— 才			1 日	3 時間
	—	107.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかというとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでもない	全くそうでない
	72 件 78.3 %	満足 できたか?	32 44.4 %	28 38.9 %	1 1.4 %	1 1.4 %	0 %



主な意見	■ 高齢化社会において介護をしてくれる若い世代が育っていない現状を改めて実感しました。
	■ 地域の福祉活動は大人だけの活動になりがちですが、子供も参加させて「思いやりの心を育てる」。子供とふれあいを持つ事により町が明るくなるように思われます。参考になりました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 長尾校区の事例紹介では連絡調整会議やふくしのまちづくり講座を活用し、小地域福祉活動計画策定に至るまでの道筋がとても分かりやすい発表だった。
	■ 事例発表の時間が押して、中村先生の講義が短くなり質疑応答が出来なかった。来年度は、校区の事例紹介の割当時間の厳守を事前に調整したい。
	■ 中村先生の講義は、分かりやすく好評であった。

■ 研修風景

開会あいさつ		小地域福祉活動の意義と校(地)区社協運営について	
事例紹介		地域の関係団体との連携・協働	

— 令和5年度 —

## まちづくりゼミナール 実施要領

# 個人情報の取り扱いルールについて さまざまな課題をみんなで考えよう

- 1 目的** 「まちづくりゼミナール」は主に、地域で活躍する指導者を支援するため、ゼミナール形式により、地域づくりのための情報交換・討論等を行いながら、地域コミュニティの再生に取り組む研修会です。  
今回の研修は、校(地)区社協の見守り活動を行う上で必要となってくる「見守り基本台帳」や「会員名簿」など個人情報の取り扱いの難しさや問題点を話し合い、改めてルールに則った取り扱いの形をみんなで考えていきたいと思えます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 12 階 H・I 研修室または多目的ホール  
(戸畑区汐井町 1-6)  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 校(地)区社協・地区民児協・まちづくり協議会の役員等 30 名  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和5年9月14日(木)、10月12日(木)、11月16日(木)  
いずれも 10:00~12:00

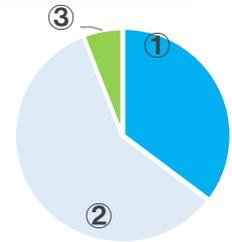
日程	内容	講師
一 目 目 9月14日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 個人情報保護に関する基礎知識・取り扱いポイント</li> <li>■ 他都市の Q&amp;A を参考に理解を深める</li> </ul>	北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一
二 目 目 10月12日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 他都市の社協、自治会などの事例紹介</li> <li>■ 個人情報の取り扱いの難しさ、問題点をグループで話し合う(グループワーク)</li> </ul>	
三 目 目 11月16日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1日目・2日目の振り返り</li> <li>■ 今回の研修で理解できたこと、今後やらなければならないことなどをグループで話し合い共有する(グループワーク)</li> <li>■ まとめ</li> </ul>	

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	29人 17・12	26人 86.7%	77人	—才		3日	6日

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について	① 満足できた	② どちらか 言うと 満足できた	③ どちらとも 言えない	④ あまり 満足できなかった	⑤ 不満だった
	22 件 88%	満足 できたか?	6 27.3%	10 45.5%	2 9.1%	0 0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 個人情報に対して深く考えていなかった。今後は再度勉強しなおして、まちづくりの一助に致します。</li> <li>■ 個人情報の取り扱いの基本を学ぶことができました。個人情報の取り扱いルールを作成する必要があると感じた。</li> <li>■ 身近な内容だった。具体的であった。</li> </ul>
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グループワークが好評で「またこのようなスタイルで開催して欲しい。」との要望が多かった。</li> <li>■ 今回は各グループを自治区会に見立てて、グループ毎に個人情報の取り扱いルールを作った。全員でルール作りに取り組むことで問題意識を共有でき、今後、地元での個人情報の取り扱いについて考えるきっかけ作りとなる研修になった。</li> </ul>
--------------------	--

■ 研修風景

<p>一丁目 ■ 個人情報保護に関する基礎知識・取り扱いのポイント</p> <p>■ 他都市のQ&amp;Aを参考し理解を深める</p>		<p>二丁目 ■ 他都市の社協、自民会などの事例紹介</p> <p>■ 個人情報の取り扱いの難しさ、問題点をグループで話し合う(グループワーク)</p>	
<p>三丁目 ■ 一丁目・二日目の振り返り</p> <p>■ 今回の研修で理解できたこと、今後やらなければならないことなどをグループで話し合い共有する(グループワーク)</p> <p>■ まとめ</p>		<p>三丁目</p> <p>グループ毎の発表</p>	

## 令和5年度 企業の社会貢献活動セミナー 実施要領

# 企業活動と地域社会の活性化について

### ～地域とのコミュニケーションから地域活性化につなげている企業の事例に学ぶ～

- 1 目 的** 近年企業では、環境活動やボランティア、寄付活動等をはじめとして社会的な課題を解決するための取り組みが多くみられ、こうした企業の社会貢献への取り組みに対する市民の関心も高まっています。一方、地域福祉の現状は、活動の担い手不足が大きな課題となっており、この課題を解決していくためには、様々な立場の人々が主体的に日常の地域福祉活動に継続的に参加し、行動していくことが大切であると考えます。今回のセミナーは、買い物困難者への支援事業を事例として、今後、様々な活動が期待される企業の皆さんと社会貢献活動の取り組み状況や活動に取り組む上での課題などを共有し、今後の活動の在り方や地域とのかかわりについて皆さんと考えることを目的としています。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 各企業の社会貢献活動担当者及び活動者  
( ZOOM を使ってオンライン受講できる方)  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 4 研修形式** ZOOM を使用したオンラインセミナー (事前申し込み制)
- 5 受講料** 無 料
- 6 日程・内容** 令和6年2月15日 (木)

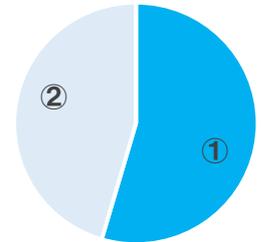
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:35～	講師・事例発表企業の紹介	
13:40～ 13:55	事例発表Ⅰ 移動スーパー巡回等で買い物困難者を支援 ～地域と安心・信頼の絆を築く～	株式会社 西鉄ストア 営業企画部 課長 松本 祐介
13:55～ 14:10	事例発表Ⅱ 地域活性化の原動力は「枝光やまさか乗合 ジャンボタクシー」	株式会社 光タクシー 代表取締役 社長 石橋 孝三
14:10～	休 憩	
14:15～ 14:35	パネルディスカッション	講師・事例発表者2名
14:35～ 15:25	講 義 企業活動と地域社会の活性化について	北九州市立大学 地域創生学群 教授 眞鍋 和博
～15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	15人	14人	14人	—才		1日	2日
	11・4	93.3%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義	どちらか 言うと 有意義	どちらか 言えない	あまり 参考に ならない	全く 参考に ならない
	11 件	満足 できたか?	6	5	0	0	0
	78.6 %		54.5 %	45.5 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 単に食料を購入する目的にのみならず人と人が顔を合わせ「会話」や「顔を合わせる」事が出来る。人と人とのつながりが希薄している現代に必要な事だと考えます。
	■ 北九州全体が高齢化の課題を抱えているので、この取り組みが市全域に広がっていくと良いなと思いました。
	■ CSR やSDGs について基礎のところからしっかりと教えていただいたので、これまでであいまいな理解であったのが、だいぶ改善した気がします。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 事例発表は、それぞれの企業が地域の課題を踏まえ、地域貢献を行うこととなった経緯や活動内容を詳しく話して頂き、受講者の社会貢献活動の関心も高まった。
	■ ディスカッションで講師がより深みのある質問や問題提起を行ったことにより、受講者の理解と課題の共有が深まった。
	■ Zoom 研修の接続トラブルはなかったが、音声や画面共有などの事前の講師への操作方法のレクチャー等を再度確認し今後の研修を開催したい。

■ 研修風景

「移動スーパー巡回等で買い物困難者を支援し地域と安心・信頼の絆を築く」		「地域活性化の原動力は「枝元まさか乗合」ボランティア」	
パネルディスカッション		「企業活動と地域社会の活性化について」	

# 令和5年度 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー 実施要領 「農業と福祉」から新しい地域共生社会 の形を考える

- 1 目的** 農福連携は、障害がある方などが、農業の分野で活躍することを通じて自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。  
今回は、社会福祉法人による農福への取り組み事例を紹介し、新たな地域共生社会の在り方を考えるとともに、今後地域とのつながりの中で、農福と公益的取り組みがどう関わっていくのかについても探っていきたいと思います。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 対象者** 社会福祉法人の代表者・実務担当者、協力団体など  
(ZOOM を使ってオンライン受講できる方)
- 4 形式** ZOOM を使用したオンラインセミナー (事前申し込み制)
- 5 日時** 令和6年2月22日 (木) 10:00～11:30
- 6 受講料** 無料
- 7 研修日程・内容**

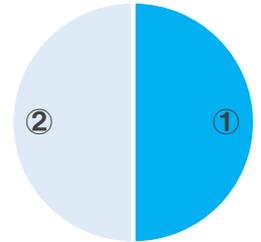
時間	内容	講師等
10:00～ 10:05	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:05～ 10:20	他都市における社会貢献活動の 実践に学ぶ	北九州市社会福祉協議会
10:20～ 11:00	<b>【事例発表】</b> 新しい共生社会の形と今後の 地域とのつながりについて	社会福祉法人 あすなろ学園 障害者支援施設 母原 施設長 吉田 貴志
11:00～ 11:20	ディスカッション	
11:20～ 11:30	質疑応答	
11:30	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	7 人	6 人	6 人	— 才		1 日	1.5 時間
	4・3	85.7 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義だ	どちらか と言うと 有意義だ	どちらとも 言えない	あまり参考 にならない	全く参考 にならない
	6 件	満足 できたか?	3	3	0	0	0
	100 %		50 %	50 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社会福祉法人の枠にとらわれない活動を学ばせていただきました。</li> <li>■ 地域との共生のあり方について、事業所としての取り組みを説明して頂き、私共事業所も地域共生に関わる事案のヒントになった。</li> <li>■ 全体を通して、課題意識の再検討やこれから目指していく指針構築に役立つ事が多かったため、本日の研修を活かして今後の運営を考えていきたい。</li> </ul>
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 農福連携をテーマにした zoom 研修を行った。事例発表は、施設での養蜂活動を通して利用者の精神的効果がアップしたことや、今後益々地域との連携を目指したいとの施設のビジョンを話された。</li> <li>■ 申込者が少なかったため、今後は就労支援施設等、テーマにあわせた周知対象・方法等検討していきたい。</li> </ul>
--------------------	--

■ 研修風景

基調説明 「他都市における社会貢献活動の実践に学ぶ」		事例発表 「新しい共生社会の形と今後の地域とのつながりについて」	
事例発表を踏まえてのディスカッション①		事例発表を踏まえてのディスカッション②	

令和5年度 ボランティアコーディネート研修実施要領

# ボランティア受け入れの コーディネーションについて考えてみよう ～ ボランティアさん！いらっしゃい～

- 1 趣 旨** 社会福祉施設や市民センター・校(地)区社協等でボランティア受入担当者（ボランティアコーディネーター等）を対象に、利用者、ボランティア、担当者それぞれにとってプラスになるようなコーディネーションとは何かを学びます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）  
※駐車場は限りがございます。公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** 社会福祉施設や病院、市民センター、校(地)区社協活動等において、ボランティアコーディネーション(ボランティア受入等)を担う方【定員 30 名】  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受 講 料** 700 円 (研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容**

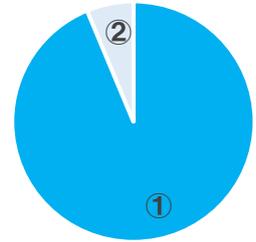
日 時	内 容	講 師	
令和5年 6月7日 (水)	13:00	受 付	
	13:30	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	13:35 ～ 14:00	事業紹介 「ボランティア活動について」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課
	14:00 ～ 16:00	講 義・ワーク 「一緒に考えましょう！ボラン ティアコーディネート～ボラン ティアさん！いらっしゃい～」	NPO法人 チャイルドライン北九州 副理事長 宮崎 浩
	16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	17 人 6・11	16 人 94.1%	16 人	50.5 才			1 日	2.5 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	16 件 100.0%	満足 できたか?	15 93.8%	1 6.3%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからボランティア受入れを検討するうえで大変参考になりました。</li> <li>他者の意見を伺う機会があり、見聞を広げることができました。</li> <li>ボランティアの気持ちに立ち、考えることも大切であることが分かりました。今後の自分の業務に活かせる内容でした。</li> </ul>
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアコーディネートについて、コーチング理論やグループワークエクササイズを通して考える研修となった。</li> <li>グループワークではストローを使って“アヒルの家”を作成。話し合い、短時間で1つの物を作り上げる事で、コミュニケーションの大切さを学んだ。</li> </ul>
--------------------	---

■ 研修風景

活動推進課 事業紹介		講義「一緒に考えよう！ボランティアコーディネーターへボランティアさん！いらっしやい」	
グループワーク①		グループワーク②	

**社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会  
地域福祉部 研修課**

**(北九州市社会福祉ボランティア大学校)**

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた3階

TEL 093(881)6321

FAX 093(881)6306

ホームページ [kitaq-shakyo.or.jp/active/vol-about/vol-collage/](http://kitaq-shakyo.or.jp/active/vol-about/vol-collage/)